京城日報

十一日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五拾五錢(郵税前金一ケ月金六拾五錢)三ケ月金壹圓九拾錢 六ケ月金參圓 同七拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲場所指定一行金貳圓▲三號活字一行は二號活字の二行は五號活字同樣の割
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局 營業局 工場 二一四番 二五番 三六番 一四六番 振替貯金口座京城三六〇〇番

時間表 (行南) (行北) [illegible]

○羅軍深く敵地に入る

ブカレスト來電に依ればトランシルバニアにて羅軍は引續き優勢にて敵國境内に侵入すること既に卅哩に及べり(紐育電報)

○ドブルヂャ方面敵軍侵入

羅軍之を沮止せんと送兵す

ブカレスト來電に依れば羅馬尼軍はドブルヂャ方面に侵入せし獨勃軍を沮止する爲め同方面に送兵しつゝあり半官報的に發表されたる處に依れば該地方が防禦に困難を感ずることゝ敵軍が相應に優勢なることによりて羅馬尼軍は更に若干退却の止なきに至るべしされど軍事當局者は敵が大部隊を以てするも羅都に進軍を企つるが如きは不可能なりと斷言しつゝあり(紐育電報)

▲羅國首都危急か

羅馬尼軍撤退と共に獨勃兩軍は羅馬尼沿岸五十哩の地點に侵入したり又別報によれば獨勃軍の迅速なる進出により羅馬尼首府ブカレストは危機に瀕せりと(紐育電報)

○希臘鐵道總同盟罷業

雅典來電に依れば、地方の鐵道從業員は賃金增率を要求し總同盟罷業を宣言せり(倫敦電報)

○勃運送船廿隻撃沈

波羅的港にて露海軍の奏功

露國驅逐艦數隻は勃國海岸に於て勃軍の占守する波羅的港を襲撃し港内に碇泊せる食麪麭を積載せる運送船二十隻を撃沈したり(紐育電報)

○鄭家屯第二回交渉

十一日北京に於て我林公使と外交部との間に鄭家屯事件第二回の交渉ある筈(東京電報)

○借款擔保未定

財政總長陳錦濤氏より我林公使迄非公式に交渉しつゝある借款は鹽税を擔保として提供するか又は適當なる財源を他に求むるか猶未定なりと(北京電報)

○總督の殿下奉送

高野山滯在中の寺内總督は十一日朝下山京都に至り御遣露の閑院宮殿下を同地にて御見送り申上ぐべしと(大阪特電)

○首相の鋼鐵王招待

大隈首相は十一日早稻田の自邸に米國鋼鐵王ゲーリー氏夫妻一行を招待し午餐會を催し米國大使及び各大臣等も列席せり(東京電報)

○廣瀬軍經理部長

廣瀬朝鮮駐箚軍經理部長は十一日朝大阪通過赴任の途に上れり(大阪特電)

◎蒙軍の其後

前報後蒙軍は猶楊家城子を離る遠からざる地點に留駐し優勢なる支那軍を提れて北退を決行し得ず而して支那軍側は關東都督府が交戰禁止區域を更に新民屯、鄭家屯、楊家城子、農安縣以東一帶の地域に延長して殿に蒙軍の此界線内に竄入するを禁止せるより濫りに蒙軍に攻撃を加へ得ず支那側としては蒙軍が此際宗社匪團と分離して匪團は其分散に任かせ蒙軍獨り北還するに於ては支那軍は全然攻撃を加へず沿途彼等に多少の不法行爲あるも之れを看過して歸籍解散せしめんとの方針なるも若し蒙軍が然かせざるに於ては彼等を日本の干渉なき地點に誘き出して攻撃を加へ其結果彼等が敗走して日本の監視區域内に竄入し日本の爲めに武裝を解かるゝことを翼望するならんも此場合日本が復た如何なる行動を取る可きやに就きては懸念斷なからざるを以て九日來張督軍はこれが對策に就き種々商議中なりと(奉天)

◎副總統近く選擧

支那副總統選擧問題は其關係太だ重大なるを以て國會開始前政府國會の間に之れを閣員追認問題後に繰延ばすことに妥協成りたるが現在閣員追認も兩院を通過したるを以て議員中之れが提出を主張する者あり又一方には今姑く延期するを可なりとする者あるも約法上に於て副總統は一日も其缺員なるを許さゞるを以て約法の尊嚴を維持する爲め其選擧を急速にせんとの議論大に起り兩院意見も略ぼ一致し政府亦た之れに同意したれば近く其選擧に着手す可しと(北京)

◎閑院宮御通過

閑院宮殿下には既記の如く十一日朝東京驛發列車に御搭乘途次桃山御陵に御參拜ありて十三日夜釜山に御上陸、此處より山縣政務總監以下文武大官從驅しまつりて十四日午前七時十分南大門驛御著、貴賓室に成らせられ文武高等官に謁を賜ひ御少憩の上七時三十五分同驛御發の事と確定したり

▲遣露宮奉迎送

山縣政務總監は高橋武官、遠藤秘書官、藤波通譯官等を隨へ閑院宮殿下を釜山に奉迎、安東縣まで扈從奉送の筈なるが其の出發期は目下京釜線不通の爲め未だ決定し居らず

▲立花中將南行

第十九師團長立花小一郎氏は閑院宮殿下奉迎の爲め十三日午前八時四十分龍山發列車にて副官を隨へ釜山に出張殿下に扈從して北行すべし

▲古海總長南下

警務總長古海嚴潮氏は十二日夜發列車にて齋藤副官を隨へ閑院宮殿下御一行警護の爲め釜山に南下御搭乘列車に陪乘新義州迄奉送申上ぐべしと

▲王公族の奉迎送

來る十四日朝閑院宮殿下南大門驛御著發の際は李王李太王各御名代及び李堈公李埈公兩殿下は停車場にて奉迎送相成る可し

▲鐵道の奉迎送

鐵道局長官大屋權平氏同參事和田駿氏は十二日夜若くば十三日朝發列車にて閑院宮殿下奉迎の爲め釜山に南下し殿下に扈從して北行すべし

▲奉迎送者注意

閑院宮殿下は別項所載の如く十四日午前七時十分特別列車にて南大門驛御著相成る筈に就き停車場内に入りて奉迎送を爲し得るものは必ず十五分前構内に參集各自標示の位置に著きて奉迎奉送す可く、又其の筋より通知を發せるもの以外の人士は構外に於て都藩に奉迎送す可しと而して殿下御著の際には軍よりは南大門驛前に軍隊を整列せしめ又た儀仗兵を派遣すべく尚ほ野砲兵隊は祝砲を發して奉迎の意を致す筈なり

◎秋山軍司令官

秋山軍司令官は十一日午前九時より司令官室にて白水軍參謀長寺西軍醫部長生井法官部長外各部長より所管事務の報告を受け十一時終了直ちに司令部各室の巡視を行ひたり

◎軍司令官伺候

秋山軍司令官は山縣政務總監と共に十一日午後二時より昌德宮に伺候せる後更に李堈、李埈兩公殿下邸を訪問新任の挨拶を爲せり

◎軍司令官巡視

秋山軍司令官は閑院宮殿下迎送の爲め十二日夜龍山發釜山に至り更に新義州へ赴き其序を以て歸路新義州及び平壤部隊の巡視を爲す豫定にて迎送には古城副官巡視には安藤中佐隨行すべしと

◎軍司令官披露

秋山軍司令官は十二日午後四時より新任披露の爲め龍山官邸に京龍主なる官民三百名並に外國領事團を招待立食の宴を催ほすべし

◎聯隊射撃演習

龍山歩兵第七十八聯隊の全部は水原に宿營し十一日より十二日迄京釜線富平附近にて戰闘射撃演習を行ひつゝあるが池内大佐以下聯隊幹部も同地に出張し居れりと

◎金久保旅團長

新任大邱四十旅團長金久保少將は軍司令官へ著任申告の爲め十六日午後八時五十分龍山驛著列車にて入京する由

◎京畿水害

九日夜來の豪雨は京城附近殊に甚しかりしが京畿道内また各郡に亘りて出水を見漢江の如きは十日午前六時二十分に於ける增水量十九尺二寸なりしも歇雨後益々增水し午後三時には二十六尺となり同六時五十分には二十七尺に達せり、而して京城市内にては道路、橋梁の破損十二箇所、石垣の損傷等尠からざりしが龍山にては十日朝京釜線街橋下の電車軌道破損して一時運轉中止の止むなきに至り麻浦は浸水家屋百二十一戸を算し内地人六名は麻浦公立普通學校に收容避難せしめ朝鮮人は附近の親戚知友の許に避難したり又十日夜までに其筋に達せる各郡部の被害は抱川郡にては南大川增水十五尺漢川十尺に達して假橋流失して交通杜絶せるのみならず家屋の浸水尠からざる見込の由次に水原郡は水原橋破壊せる爲め交通杜絶し其の他數箇所に各種の水害ありしものゝ如くも利川郡にては京釜線鐵道に損害を蒙りたる外異狀なしと

◎採炭十七萬噸

平壤鑛業所近況

總督府所管平壤鑛業所は現在の設備に相當したる採炭及び煉炭に關する諸般の施設經營を爲し兼て平壤若田調査の事務を管掌しつゝあるが四年度に於ては軍事上緊急の需用に應ぜむが爲め臨時無烟炭を增掘して以て之を海軍に供給せり、今同年中に於ける事業の概況を聞くに

▲採炭 は豫定經費の範圍内に於て無烟炭十一萬噸の出炭を期し前年度同樣寺洞、高坊山の二箇所を採炭區域として作業を繼續し寺洞より六萬九千三百餘噸高坊山より五萬一千六百餘噸を採掘したる外前記の如く臨時採掘增加の必要を生じたるを以て前年度の臨時坑を繼續して更に無烟炭六萬七千餘噸を增掘したり、而して以上の採炭量に前年度の持越噸數を加へたるものゝ内十六萬五千百噸を海軍に供給して八千六百四十餘噸を煉炭に製造し一千九百十餘噸を民間に拂下げたる殘部は之を翌年度に繰越せり其の各種生產數量及び價額左の如し

炭種	數量	價額
第一種炭	三四、六三二噸	二五八、七〇六圓
第二種炭	一五三、一六五	七九六、〇七二
第三種炭	二八〇、	九八〇、
計	一八八、〇七八	一、〇五五、七五八

備考 右表中噸及圓以下は總て之を切捨たり

▲煉炭 は逐年需要增加の趨勢にあり特に前年度の需要期に於ては著しく其の氣勢を示し第一種煉炭(ピッチ入小型)も漸次良好なるにより今年度に於ては第一種煉炭及第二種煉炭を併せ一萬餘噸を製出し其の大部分を販賣者に交付せり、其の內譯數量及び價格左の如し

種別	數量	價額
第一種煉炭	四、七五四噸	三九、七三八圓
第二種煉炭	五、六四二	三三、八五三
計	一〇、三九六	七三、五九一

備考 右表は噸及圓以下は總て之を切捨てたり

▲探鑛 は前年度と同樣の方法を以て江東郡三登面内社壇洞、倭洞、上東洞、同郡晩達面内孝德洞、明禮洞、明義洞、同郡江東面内松鶴洞、龍伏洞、臥龍洞、同郡古邑面内香眠洞、同郡元灘面内松鶴洞及び大同郡柴足面土浦洞に於ける延長約六里間の調査を遂行したるが其の成績極めて良好にして隨所に豐富の鑛脈を發見せり

◎土地改良補助

國庫の支出五十七萬圓

本年三月末現計に依るに明治四十二年以來今年度迄に於て土地改良に要せし國庫の補助額は各道を通じ合計五十九萬六千卅七圓にして明治四十二年度に在りては一千圓を全北に四十三年度には五百圓を慶北に補助せるに過ぎざりしも四十四年度には一萬三千七百餘圓を以て忠淸南北、全羅南北、慶尚南北の六道に補助し大正元年度には平安南北、江原、咸鏡南北五道を除く各道に對して七萬八千圓を補助し大正三年度には咸鏡南北以外の各道に合計十四萬圓を補助せり、而して大正四五兩年度の補助額は三年度同樣十四萬圓にして何れも十三道に按排補助したり

◎京城市區改正

本年度の市區改正事業中敦化門前より警務總監部前に至る敦化門通りの新豫定道路は鍾路より本町に至る間迄は夙に土地の買收を了へ取拂工事も略々終了に近きを以て今月中には假道路として開通の運びを見る可きも本町より警務總監部前に至る間は未だ所用地の買收にも著手せず目下價額の查定中に在り然れども此の道路は今年度中に開通せしむる豫定なれば查定濟次第豫算の許す範圍に於て買收を了し取拂ひ工事と共に假道路を敷設す可し、但し本年度は双方とも假道路に止め本工事は明年度に俟つ豫定なり

◎衛生試驗著手

金剛山の藥草分析

總督府中央試驗所は本春官制の改正に由り從來の工業試驗釀造試驗の外新に衛生試驗部を加ふることゝなり總督府醫院の吉本藥劑課長其部の主任として兼任を命せられたるが試驗所に於ては構内の一劃に別に衛生試驗室を設くることゝなり春以來工事中の所本月末又は來月匆々迄には竣工し事務室の移轉を行ふことゝなるべし衛生試驗部の目的は主として朝鮮に生產する藥草其他製藥原料の調査を行ひ自作自給の趣旨により製藥事業をも行はんとするものにして特に民間の依頼に應じて食料品又は飲料水等の衛生試驗をも行ふものなりと而して此民間の依頼に應じて行ふ衛生試驗に就ては一定の料金を徴するものにて近く其料金は總督府令を以て發表を見る筈也衛生試驗部は以上の如き制度と目的とにより生れたるものなれば今後著々其効果を擧げんことに力むる筈にて差當り此程金剛山植物採檢を終へて歸來せる中井博士と共に調査に赴きたる同衛生試驗部の河合技手が約九十種の金剛山藥草を携へ歸り居れば此分析試驗を行ふべしと

◎市內道路復舊工事

頃日來の豪雨により市內の道路橋梁等にして損傷を來したる個所少からず府土木係は雨中と雖も急を要する地點に對しては相當の施設を行ひたれども更に十一日より係官總出にて市內の各道路修繕を行ふことゝなりたるが茲數日ならずして復舊を見るに至るべしと

◎東萊行電車復舊

釜山郵便局前より東萊溫泉場前に至る電車線路の內洗兵橋溫里場間水害の爲め不通中の所十一日朝より復舊せりと

◎中山院長歸任

內地に旅行中なりし大邱覆審法院長中山勝之助氏は十日朝連絡船にて釜山上陸即日歸任せり

◎道廳打合會

京畿道廳及び同警務部幹部は十一日午前九時松永長官室に會同し一般事務及び其他に關し打合せをなす所ありたり

◎隈部隊長歸京

九日午後下仁せる隈部京畿道憲兵隊長は十一日午前八時仁川發列車にて歸京せり

◎阿部秀太郎氏著任

朝鮮銀行平壤支店長より本社地方課長に轉せる阿部秀太郎氏は家族同伴十一日午後七時三十分南大門著列車にて來任の豫定なり

◎東拓執務時間改正

東洋拓殖會社にては十一日より執務時間を午前八時半出勤午後四時勤了の事に改めたりと

◎學校新築組合會

京城學校組合は本月六日開會の組合會議に於て新設小學校の敷地問題を協議題として提出し議員の意嚮を確めんとしたれども議員中に賛否相鮫れ到底其儘本會議に提出すとも贊成を得べからずとなし其後理事者と議員との間に交渉を重ねつゝありしが愈々大體の見込立ちたるものゝ如く廿日前後迄に組合會を召集することとなれり

◎長春より

▲杜爾伯特王妃 蒙古杜爾伯特王妃は今年十二歲の王子を露國に留學せしむべく態々王子を送り八日當地經由露國に赴きたり一行八名にして王妃は流暢なる日本語を操り接待の邦人に對し巴布札布軍の近況を訊ね居たりと尚ほ聰明なる王子の露國留學は他日親露の蒙王を得る事に依て大なる成功といふべし▲殿下御旅程 來る十五日午前七時三十五分長春に御到著遊ばさるゝ遣露大使宮殿下御一行は當日午後一時四十分東淸特別列車にて當地御出發哈爾賓に向はせられ十六日午前九時四十分哈爾賓より御出發二十三日午前九時五十五分を以て露都御入京同地には十日間滯在遊ばされ十月二日を以て露都御出發十日を以て哈爾賓御歸著十六日を以て東京御歸京の豫定なりと▲鐵路の檢分 遣露大使閑院宮殿下には來る十五日當地御到著の御豫定なるを以て堀技術局長は豫め安東縣より長春迄の線路の檢分をなし萬失態なからしむべく七日來長八日南下したり(九日發)

平壤

◎二百廿日の氣象 平壤測候所の觀測に依れば九月十日卽ち俗に云ふ二百廿日の平南氣象は低氣壓揚子江沿岸にありしが漸時進行し來り朝鮮西岸仁川附近に至り一つは東朝鮮元山沖方面に低氣壓ありて平南道は此低氣壓通行の爲め二十粍の降雨ありしも平北道北鎭附近に高氣壓ありたるため降雨量少なく今後暫くは西鮮一體は晴天を持續すべく厄日も無事通過したり▲關口檢事正管內視察 關口平壤地方法院檢事正は十一日鎭南浦支廳及び警察署等を巡察し翌日南浦分監をも視察すべく十四日歸壤の筈

南浦

▲八月中貿易額 鎭南浦に於ける八月中輸移出額五九〇八一五圓輸移入額は三二七二二二圓にして合計九一八〇三七圓となり之れを前年同月の貿易額三九〇六二三圓に比すれば五二七四一四圓の大差額を示す輸移出品中最多きは米の七八〇一一圓にして鐵鑛石の六〇一八八圓之に次き輸移入品の重なるものは諸機械類の三二四七圓にて爆發物二、五〇五一圓綿莚類二二六一七圓綢織の一一三二六圓等之れに次ぐ重要輸移入品なり▲演武大會 帝國在鄕軍人會平壤分會武道部にては來る廿三日正午十二時より同會舘に於て臨時演武大會開催の筈なるが競技種目は柔、劍術、銃劍術にして既に安州、鎭南浦、黃州方面より申込多數あり昨日夫々市內有志へ案內狀發送せり▲篠田部長任期 篠田平安南道第一部長は七日東京出發十一日頃歸任の旨其筋に通知ありたり▲成川の古蹟保存準備 成川は古朝鮮の都城趾として史家の研究地なるが同地東明館は古き歷史を有せる建築物にして近年多く破壞せしを以て過般總督府は土木局員を派し調查中なりしが此程完了せるに付近く重修著手の由▲黑板博士動靜 過般平安北道を視察して來壤滯在中なる黑板文學博士は昨日箕子陵附近を踏査し本日は土城附近を調査し尚數日に渉りて平壤を中心とせる大同江沿岸の史蹟踏査の筈也

仁川

▲久水府尹 久水仁川府尹は歸省中の所九日歸任十一日より登廳執務し居れり▲石原訓導 仁川公立尋常高等小學校訓導に新任されたる石原重義氏は十一日著任▲及川警部 當警部勤務を命せられたる及川警部は十一日午後一時四十分著列車にて著任の筈▲俱樂部送迎會 仁川俱樂部會員は今回更任したる瓦斯會社支配人林氏山內氏の爲め二三日中に送迎會を催す筈▲釣魚競技會 仁川の好漁家連は今月中に本秋の釣魚大會を催す筈▲八坂神社打合會 八坂神社打合會は十一日午後六時より八坂に於て開會

釋王寺

▲釋王寺と別莊建築 鬱蒼たる老松古柏の山中に結構壯大なる寺あり淸淡なる溪流に沿ふて溫泉場の設備あり四時共に優雅なる風致に富める釋王寺は避暑に好く又避寒に適するを以て好個の別莊なりとす、聞くところに依れば宋子爵閔子爵其の他の貴族連にしてこの釋王寺に地を選び別莊の建築をなさんとするもの多く就中閔子爵別莊の如きは既に工事に著手したり▲釋王寺の松茸狩 釋王寺の名物松茸は本月初旬より出初め居れるを以て例年の如く京城仁川龍山方面に積み出さるゝ一方各地より來遊し此處に松茸狩をなすもの又尠からず由來釋王寺の松茸は香氣殊の外高く北鮮松茸中品質に於て其の首位を占め南大川の鮭と共に安邊郡の二大名物と稱せらる而してこの松茸の產出區域として京元線釋王寺驛を距る僅かに半里釋王寺溫泉場鶴松園にて管理しつゝある雪峰山の松林中にして出盛りは本月末頃なるべし

人事消息

▲安宅定吉氏(元山水產會社取締) 十日夜入京笑獅旅館へ
▲寺尾規矩郎氏(新義州稅關支署長) 入京中の處十一日朝元山へ
▲一戸直藏氏(理學博士) 九日夜退京
▲三原新三氏(勸業模範場木浦支場長) 十日朝退京

●遣露大使宮御出發

東京驛頭光影參差たり

本年一月露國皇帝陛下御名代ゲオルギー、ミハイロウキッチ大公殿下御來朝御答禮の爲め去月十五日露國へ差遣の御沙汰を拜し給ひし

▽閑院大將宮殿下には御豫定

の如く御隨員内山侍從武官以下安達特命全權公使吉田式部官中島陸軍少將松井宮内事務官其他隨員を隨へ十一日午前八時三十分東京發列車にて露國御訪問の途に上らせらる當日殿下にはカーキ色の陸軍大將の通常御服に大勳位菊花副章を御佩用遊ばされ宮廷專用御車寄より

▽高橋驛長の先行にて御乘車

奉送の兩陛下御使東宮殿下御使 東伏見宮久邇宮梨本宮 朝香宮東久邇宮各殿下並に外各宮御使大山内大臣大隈首相以下各大使露國大臣クルペンスキー氏同館員其他文武官華族七百餘名に御會釋を賜ひ御機嫌麗はしく御發車遊ばされたり尚ほ殿下には午後七時半京都御著、長樂館に御一泊十二日伏見桃山御陵參拜、午後西下相成る由(東京特電)

●記錄を破れる鐵道被害

安養川附近築堤一哩の缺壞

船橋を架して徒步聯絡

閑院宮殿下御通過期を前に控ゐて恐懼の至りなり

京釜線始興安養間は安養川氾濫の爲め線路は押流され堤防は大決潰し九日夜來不通中なるが當局にて鋭意復舊工事中にて十一日正午迄の所確乎たる復舊期の見込み立たざるも天候も恢復したる事とて遲くも十三日までには全通すべきかと云ふ

▲長官以下現場に急行す

死力を盡さん

和田鐵道局參事曰く今回は稀有の豪雨らしく出水非常にて安養川附近約半里の築堤押し流され十一日正午迄の所全く減水せざるに付其の復舊期を確言し難きも何分十四日早曉には御名代宮殿下御一行を搭載せる臨時列車通過の事となり居るに付當局にては恐懼に堪へず死力を盡して其工事を急ぎ殿下御搭乘列車は定刻御通過出來するやう最善の努力を致すべし既に大屋長官は十一日朝現場に出張稻垣工務課長以下を督勵し工夫千數百人を指揮し復舊に盡瘁しつゝあり尚ほ一般の徒步連絡は多分十二日午後七時五十分南大門驛發列車より可能なるべしとの豫想なるも或は十三日午前八時三十分よりとなるやも圖るべからず但し徒步區間は約二三町にて多分舟橋を架す事となるべし

▲線路上浸水六尺を越ゆ

凄まじき濁流

又技師石川眞三氏は曰く九日夜來の豪雨は安養川上流に於て凄じいものだつたらしく今回の被害は浸水の著るしかつた事鮮鐵の受けし水害の記錄を破つてゐる何しろ安養川の附近は今春大破壞を受け假線を敷設してゐたのだが滔々たる濁流は渦を卷いて假線上實に六尺に及び十日午後から天候の恢復せしに拘はらず十一日正午迄は尙ほ濁水は線路の上を越してゐる實狀斯の如きに付當局の復舊工事は非常の困難を感じ全通期の見込み立ち難い譯だが故障區間の京城方面は伊藤技師水原方面は松田技師主となり多數の工夫を使用し營々工事を進めてゐる、但し未だ京城方面より建築材料を水原方面へ送致する連絡がついてない位だから吾々も復舊工程の奈何に多大の苦慮を費やしてゐるが十四日朝の閑院宮殿下御一行を搭載せる列車は定刻御通過可能の事となるであらうと信じてゐる

▲斷じて御豫定に支障なからしめん

三本鐵道局理事の談

來る十四日朝鮮を經て露西亞に向はせらるゝ閑院宮殿下の御通過に際し鐵道當局の水害に對する處信を確かむべく十一日午後一時三十分、三本理事の意見を叩く、曰く、宮殿下の御通過を目前に控へて今回の水害は天災とは言ひながら只管恐懼の外なし何分水害箇所の情態が時々刻々變化しゆくを以て今の所之れに就いて責任あるお答へを爲す能はざるも、御通過までに復舊せしむるか若しも列車の通行適はざるに於いては已むを得ず或る區間を御徒步を願ふやも圖り難けれども兎に角如何にしても御豫定通り御通過に支障無きを期すべく覺悟にて既に十一日大屋長官自から現場に赴き工事を激勵せし如く鐵道當局にては全力を擧げてその復舊に努めつゝあるなり

●漢江增水

二十九尺

避難民收容所設けらる

京城府に於ては九日夜來の豪雨のため龍山方面に於て下水氾濫し家屋の浸水せるもの尠からず漢江もまた增水の狀況ある由龍山出張所よりの急報に接せる爲め石原事務官は土木主任と共に拂曉雨を冒して同方面の視察を遂げ本府内務主任外吏員を以て避難民救護班を組織し龍山に急行せしめ洞出張所員と協力麻浦公立普通學校龍山公立小學校本願寺等に收容所を設置し避難民の救護準備を整ひ夜を徹し警戒に努めたるに十日朝より刻々增水し十一日夜明に至り二十九尺に上りしも漸次減水の傾向あり爲め府設置の避難所は收容するに至らずして閉鎖せられたるが此度の增水は一時非常に急激なりし故不慮の被害を蒙むる者なきを保し難く救護班に於ては多大の警戒を加へたる由因に此上二尺を增さば被害も頗ぶる多かりしならんに幸に收容者なくして止みたるは豪雨が京畿道內に止まり江原道方面の降雨少なかりしためなるべしと

●馬賊四百餘名

……りしより兵力僅少なる安圖縣步兵隊にては如何ともなし難く討伐をもなし……ては馬賊の糧食を供給する者多き……杜絕の狀態に陷れるも奶頭山地方に……

……れ本町署に突き出され取調への結果商人は外八名の拉致……樓抱へ神奈川縣生れの娼妓〆太事内……九日午後山根町某方迄……

●教室の窓より墜落して死す

西大門小學校の一年生=腦震盪、腦膜炎

公立西大門尋常高等小學校の一年生で北米倉町一四二建具職友杉德治郎の長男俊之介(七)と云ふ小供は九日午前十時頃第二時間目から第三時間目の授業の休み時間中

▲受持訓導が 教授準備のため室外に出た間に窓口の所に登つて居つた所を友達の一人が後から不意に押したゝめ窓外約五尺の地上に墜落した、丁度此日は雨天なので生徒は全部室內に居つたが間もなく受持敎師が來て見ると此有樣に驚いて上に敎上げたが始めは泣いて居つたけれども學校では頭を冷すやら種々手篤い介抱のため程なく泣き止んだ十二時に

▲授業を終へて校門を出る時分にはスッカリ機嫌を直し友達と笑つたりなどして歸宅後俄かに發熱し附近の錦城醫院の診察を受けたが遂に十日午前二時自宅で死亡した醫師の言に依れば腦震盪を起し其より腦膜炎となつたものだと云ふ學校では常に一年生の取扱に就ては十二分の注意を怠らなかつたものを遂に此樣なことになつたと少からず氣毒に思ひ直ちに

▲横山校長及 擔任敎師は保護者の宅を見舞つて悔を述べた死んだ兒童は戸籍面には三男とあるが今迄二人の兄は死んで終ひ事實上俊之介は長男で掌中の玉と可愛がられて居たものであると云ふ葬儀は十一日の午後四時西本願寺で兩親を始め學校職員及び學友等が淚に送られて濟した

▲郵便物は斯うい ふ塲合に何うする

八里を隔てゝ二日間連絡が絶ゐた

九日夜豪雨の爲め京釜線安養軍浦塲間安養川氾濫し鐵橋及び線路破壞し九日午後釜山發急行列車及び十日午前南大門發釜山行急行列車より

■不通となり し爲め十日午前京城著の筈なる內地郵便より水原驛に停滯し十一日午後に到るも何等連絡の方法つかざる爲め僅かに水原京城間八里の道程に在りながら殆んど二日間双方の連絡を缺ぎたる事に就き服部京城郵便局長の談に曰く列車郵便は釜山郵便局の管轄に屬し責任を負へる

■係員乘車し 居るを以て斯くの如き變災に就ては應急適宜の處置を取る事に就て如才なかるべく又京城郵便局より發送すべき郵便物も十日午前發送の分より三回分三十六個(行囊)小包八十二個の發送を見合せ居れり之れ朝鮮鐵道の不通は天災のため屢々起り其の都度郵便物の連絡に就ては苦心する處なるが

■折角苦心し て連絡を取る頃には線路復舊して却つて徒步連絡の方が遲れる如き事往々あるを以て充分復舊工事を見極めたる後に非ざれば徒步連絡等の方法に出づる事を爲さず之れ今回列車不通になりたるも急に他の方法を以て郵便物の遞送を開始せずして

■遲延せしむ るの止むを得ざるに至らしめたる次第なりと而かも鐵道の復舊工事は愈々十二日午後ならでは汽車を通ずる迄に至らずとの事なれば愈々十日正午水原より陸路普通郵便だけ京城に向け運搬を開始し京城郵便局にては同日午後永登浦より

■水原に向け 同じく陸路連絡にて內地行き郵便物の運搬を開始したり

▲當分晴れる

中江鎭は薄氷が張つた

九日午前六時五十分より十日午後一時二十分まで滿鮮各地殊に京城附近を荒らしたる低氣壓は極めて徐々に朝鮮半島の中部を通過し十一日午前に至り北陸道方面の日本海中に在り之れと同時に滿洲及び朝鮮各地は支那北部及び滿洲に發達したる低氣壓の襲來したる結果十日午前より氣壓の配置は嚴寒當時の狀態となり又は西の風は俄に冷氣を齎らし來り十日午前六時に至り長春に於ては四度の低溫を示し朝鮮に於ても中江鎭に於て氣溫六度に降り薄氷を見るに至りたるも京城に於ては十四度を示し大抵例年の氣溫と同じく天候は當分の內快晴の見込みなりと

●一時は大騷ぎ

列車中で吐瀉

十日朝釜山行き急行列車に倭舘より乘車したる朝鮮人李相萬(二八)は三浪津附近にて烈しき吐瀉を初めたれば時節柄車中大混雜となりしも鐵道醫療診斷の結果腸胃加答兒と確定したれば何れも安堵の胸を撫で下したり

●鐵道各線開通

▲京釜線の連絡 豪雨出水の爲め不通中なりし京仁線は十一日午前六時十五分開通し京元線は十日午後五時十分湖南線は十日午前九時何れも開通したり京釜線は來る十三日夜若しくは十三日朝より徒步にて連絡を取り開通十四日より全通の見込なりと又舊龍山元町三丁目より終點間の電車は十日午後三時三十分より開通せり

京春間自動車開通期

▲河揚江增水 降雨增水の爲め京城、春川間道路破損七箇所に及び十日午前十時より交通杜絕し自動車は數十日間運轉不可能ならむ又洪川郡河揚江は十日午後三時三十分增水十六尺に達し交通杜絕せり、春川附近は雨晴れたるを以て此の上增水の虞なからん

▲雨尙歇まず 北漢江上流昭陽江は春川邑附近に於て十日午前七時三十分約六尺二寸新淵江は同十時三十分十九尺の增水にて京春間は交通杜絕せり又北漢江の上流なる麟蹄楊口方面は十日の朝六尺乃至十二尺芋川方面は約七尺の增水にて各方面との交通杜絕し降雨尙ほ歇まず益々增水の模樣あり

▲麻浦附近被害 九日夜來降雨ありたる爲め十日午後十時三十分麻浦に於ける增水は三十尺二寸家屋の浸水百二十戸龍山元町に於ける增水は廿七尺五寸に達せり又二村洞は水に圍まれたる爲め京畿道警務部は京城府と協議し救助船を出せり

●高陽署の告別式

七十餘名にて記念撮影

高陽警察署にては十日正午署長代理田口警部以上十三箇所の駐在所員等總員七十餘名同署に參集し解散告別式を擧行し各轄勤の辭令を手にして一日記念の撮影を了へ午後一時頃散會し同夜內地人側は鍾路通り長春館にて朝鮮人側は旭町醉秀軒にて別の淸宴を張り和氣藹々の裡に午後十時頃散會したり

●猛獸牧塲を襲ふ

畜牛七頭を咬む

江原道から其の筋に達した報告に依ると管內陽郡西面龍泉里に八月二十三日の拂曉突然一頭の猛獸現はれ放牧地に遊むでゐた牡牛一頭を咬へて行つたので大騷ぎとなつたが二十四五の兩日には更に晋陽面明道里に出沒して狼藉を極め畜牛の死傷七頭に達したので附近部落の恐慌措く處を知らず郡廳では警察署と協議の上二十六日勢子を驅つて心當りの山々を卷き狩つたが不幸にも獲るところなく遂に逸して仕舞つたさうである、此の猛獸は何とも未だ判明せぬが其の足跡や狼藉の模樣から推すと老虎か豹に違ひない何れにしても年を經た奴であらうとの事なり

●眼鏡が手掛り

開城松都面南本町南宮泓(三)は八月六日元山榮町に逃亡中開城警察署に捕はれたる曲者なるが此奴は本年三月中開城池町劉重烈、朴召史、天興吉、李姓女方等にて强竊盜を働きて金品を强奪し行衛を晦ましゐたるものにて開城署の刑事が密行中開城南山町の南姓女が朝鮮男子用の眼鏡を所持して徘徊し居るを認め不審の廉り取調べの結果南宮泓より貰ひたる旨申立て其他の贓品は西本町質屋瀧口さと方にて全部發見し之を手掛りにして遂に檢擧したるものなりと

●鮮人女の屍體

仁川宮町二丁目居住年川市五郎なるが出漁したる歸途濟物浦沖を下り來ると死後十日許り經過したる鮮人女子の水死屍體の浮流し居るを發見し屆出でたるが檢屍の結果他殺の疑なきものと認め府廳へ引渡したり(仁川)

●訂正 十日附朝刊三面「三年前の犯人東京で捕はる」の記事中猶太人エーツーとあるは西班牙人エーツーの誤りに就き訂正す

●正誤 景福宮內陳列品記事中西藏とあるは西域の誤りに付訂正す

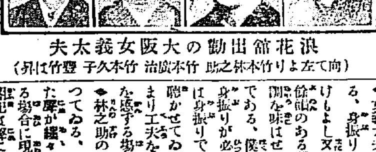
◆林之助の大閤記

▽浪花舘の女義太夫二日目▽

改築の浪花館、桝席が撤去されて大分ゆつたりとなつた故か正面の舞臺の裸が上品に見ゐる、燦々と耀く電燈の光に映じて鏡のやうに美しい黑塗の見臺を控へ、鬘々しい髮をふつくりと銀杏返しに結つて淡手な肩衣を着けた若い女太夫が伸び上つて細い聲で何やら語つてゐる、黑塗の立物に御所櫻三段目竹本久子……僕の入つた時……

◆久子と云へば東馬鶴の娘、語り口は未だ若いが癖の無い眞面な筋、聲は細いが辨度は好く出來た今が大切な時代、稽古を勵んだら二三年後には見違へる程上達するであらう、絲のは林之助一派の方、この太夫、阿漕ヶ浦を語つたさうだが語りよりも絲の方がよいとの評判、その前に出た林玉といふ可愛らしい太夫は却々聲量もあり、筋がよい、傍らにゐた天狗連中が頻りに賞める

◆廣治の合邦辻、僕はこの人の語りは初めて聞くが當地とは馴染であるさうな、聲に甘味が尠いが語り口には大分苦心の跡が見ゐる、彈き語りとしては玉手の節廻しもよい出來、大きく聞かせようとする心掛けだけはより以上に大きく買つて置く、まあ〱修行を怠らぬやうにすべし。



浪花舘出勤の大阪女義太夫

(向て左より竹本林之助 竹本廣治 竹本久子 豐竹は昇)

◆林之助の大功記、物慣れた語り方、絲を離れた語り方、この一座の眞打としての貫目は確かにある、何方かと云へば腹の薄い方なのにあれだけ持込めば——女太夫として——まあ〱上乘である、殊に身振りには大分工夫を凝してゐるらしく操の苦説の前は見臺を打たず控へ目に語つたのは極めて上品に見ゐたが伸び上つて打下ろさうとして上向きに撥を握つて置いて下向きに直して開いてそつと見臺を押へる身振りが多いやうだ是れはアマリ感服せぬ。

◆女義太夫は身振りが大切である、身振りも上手にやれば前受けもよし又人形を活躍させる、餘韻のある聲を振つて聽者に情調を味はせるには身振りが肝腎である、僕は特に女義太夫には身振りが必要だと思ふ、林之助は身振りで確かに淨瑠璃をよく聽かせてゐる、然し林の助はあまり工夫を偽過ぎるために厭氣を感ずる場合がある。

◆林之助の聲は一種の甘味を有つてゐる、その甘味は吐き出した聲が繼々として幽かに連續する場合に現はれる、要するに大閤記は聲に叶つた語り物で無いやうなものがよいと思ふ、人物中で十次郎と初菊よろし、この人の眞價はこゝ十年間に現はれるであらう、未だ〱上達する筋である、絲の東馬鶴、年は老つても撥捌き鮮かさ、撥數尠くして貫目あり、女の絲としてはこんなものであらう。(き)

讀者文藝 課題及募集規程

▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更へ……

天氣 晴れ一時曇り ▲九月十二日

〈演藝案内〉

日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 有樂館

御成座 黄金町 電話一九一 革新派中村榮一行

大阪女義太夫大一座來る 明治町 電話二六〇 浪花館 二日目(十一日)語り物

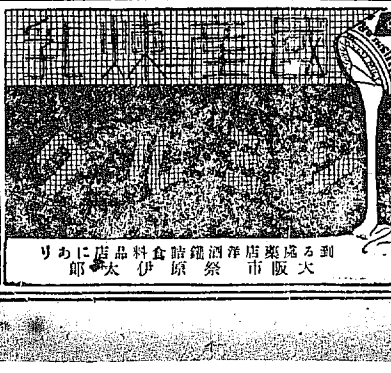
大正館の戰禍 連日連夜滿員賞讚を博したる 愈今明日限り日延し

日本活動株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館 ○九月六日よりお待ち兼ねの臨時特別大寫眞

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會朝鮮一手代理店 電話 一八五二(階上) 二六三七(階下) 黄金舘 ○九月七日より特別大寫眞提供 ○奈西大活劇『快報』 ○敎訓琵琶劇 孝の德 ▲大冒險大活劇第九『名金』

產婆並に看護婦生徒募集 入學期十月四日 規則書郵券二錢 私立 長崎市磨屋町 長崎產婆學校

電話開通 電話一七五五番 多少に拘らず迅速に御屆可申候陸續御用命願上候 京城本町二丁目(京城銀行前) 石鹼製造 卸小賣販賣 奥野商店



到る處藥店洋酒店罐詰食料品店にあり 大阪市 祭原伊太郎

醇良清酒

大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎 京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

十八日東馬賊の一隊現はれ出四名を脅せしが該馬賊の一隊は三個の集團より成り其人員四百餘名の多數な[illegible]に派遣し警戒に努めつゝあり尙馬賊横行の地方は昨今全く人馬の交通[illegible]行前の空地に風雨中なる擁軍金徵收より財布を[illegible]申渡されたり掛取りたる上郷人の擁富を盗みたる服取押へら[illegible]

◉娼妓の足拔き 仁川敷島遊廓朝日[illegible]

秋の草花

◉野趣に富みたる

△夏菊、紫菀、われもかう

◇連日の雨が晴れた所爲かめつきり涼しい氣候となりました、十一日朝の氣温は五十一度あまりいよ〳〵秋となりましたこれからの朝鮮の秋は洵に〳〵愉快な時季でございます

◇樂しい秋の草花には先づ郊外の七草を始めいろ〳〵な可愛らしい野草の類が咲いて居ます

◇頃日花屋の店には葉の大きい紫菀の花が一番盛りであの紅白紫色とり〳〵の夏菊はもうそろ〳〵終りの時期となりました

◇ダリヤはまだ〳〵朝鮮の秋を咲き誇つて居りますがこれも追々凋落する時期が近づきました

◇また葉の大きいかんなの花もあの紅い花瓣が美くしく其の他孔雀ひほうきや紫色のだんぎくなども可愛らしく咲き出でました

◇猶ほ活花用には白樺の葉、葉蘭きりん草、かやのみ、つるもどきなども床しく、われもかう、すゝきなどの野趣に富みたるは申すまでもありませぬ

◉江原笹尾兩氏講演 十一日午後四時より鐵道青年會にて貴族院議員江原素六哲學博士笹尾久米太郎兩氏の講演ありたり

◉倉橋惣三氏入京期 兒童心理學の研究家として有名なる東京高等師範學校講師倉橋惣三氏は大連に於ける講習會の歸途來る十六日入京二三日間滯在の筈猶ほ京城教育者側にては十六日午後三時より氏の講演會を開催する由場所は南山町高等女學校內

◉仁川珠算學會 仁川商業會議所書記長阪倉伊平氏は今回一般商店、官衙、會社等に勤むるもの、爲めに仁川珠算學會なるものを組織し來る十五日より開會の筈なり本會は十一歲以上の男女入會者に對し僅か百日間にて珠算に熟達せしむる計畫にて講師として愛知珠算學校卒業生にて目下仁川公立商業學校修學校の珠算講師たる岡部淳一氏が勤め毎夜午後七時より九時迄宮町阪倉伊平氏宅に於て教授する筈希望者は入會券と共に宮町阪倉藥店に申込まれたし因に本會には修業課及び研究課の二課を設け前者は百日間にて修了し後者は修業課を了へたるものに希望に依り無期限にて特別の方法を教授するものなりと(仁川)

◉商女授業時間變更 京城高等女學校の授業時間は十一日から午前九時始業午後三時までとなりました

△會のいろ〳〵▽

□內鮮基督信徒親睦會 基督教各派協同傳道の機會を以て內鮮基督教信徒の親睦を厚ふせん爲め九日午後二時長谷川町日本基督教會に於て(ファミリーホテル應川の筈なりしも雨天の爲め變更)會する者內鮮人の重なる會員及び宣教師三百餘名、丹羽清二郎氏司會して開會の趣旨を述べ江原素六翁の演說あり、鮮人信徒を代表して李[illegible]氏、宣教師を代表してゼーリング氏の答辭あり李王職樂隊の奏樂あり其興を添へ非常和氣藹々裡に懇談午後四時散會したり

□乃木大將講演會 來る十三日は乃木大將夫人の殉死當日に當りますので西大門小學校では大將及び夫人の講演會を催ふします

□小學校職員研究會 十九日午後四時より南大門小學校內に於て開催、府內各小學校及び普通學校教員の體操に關する研究あり

神社とお寺と教會

○曹洞宗別院(若草町) 十一日午後八時より座談會あり

○高野山別院(新町) 本山の久保中僧正は巡回布教の爲め二十二日入京京城にて三日間講演あるべしと

○國柱會京城局(初音町) 十二日午後八時より日蓮主義に就ての會員の討論會に次で伊東講師の法話、龍の口法難會の報恩法要を嚴修する由

○西本願寺(若草町) 十一日午後八時より月例會あり

○妙心寺(長沙洞) 十二日午後一時より婦人例會及三浦留學生の講話あり

○護國寺(旭町三) 十二日午後八時より月次祭の說教あり猶ほ十三日午後一時より婦人例會あり

○本能寺布教所(水標橋) 十二日定期布教開催如是講師の法華經講義及び日蓮聖祖御遺文の說教あり猶ほ十三日午後一時よりは婦人會あり

○開教院(本町三) 十一日午後一時より說[illegible]

だいどころ その日〳〵

◆バナヽフライ 玉子三個を割りて中に砂糖六十匁とサラダ油茶匙三つ入れてすりまぜメリケン粉六十匁をふるいて入れソーダ茶匙四分の一も同時に入れすりまぜ置きバナヽの皮を取りて立二つに割りそれを前のころもにつけてサラダ油の煮立つ中に入れて揚げ一旦紙に取りて盛る(青木はつ)

茶のあとさき

猶ほ最近の茶話座に於ける笹尾教授の話によれば△獨逸では郊外の森林が非常に保護され且つ立派である何故にかくも大切にするのかと訊いて見ると『われ〳〵は國を愛するが故に一本の樹木をも愛するのである』と答へた相な△猶ほまた獨逸の道路は實に立派である△これは路傍の林檎や梨の實を道路管理者の所得として平素から修理させる爲めであつて△其の實は往來の旅人と雖も決して盜み去るやうな不德義なことをしないのは感心である△これに依つて見ると愛國心は必ずしも君の馬前に討死するのみではない、日常微細のことにもあらねばならぬと

お休日記

△弟を伴れて散歩 西大門小學校高一 河島雄也

○七月二十二日(土)晴 朝は一天ほい色にかき曇つて、今にも雨がふらうとして居た。今日は朝から大工が二三人來て湯殿を修繕をした。鍵を落す音やら、鋸の音、つちの音が、やかましく勉強もなにも出來なかつた。宿題をやめて、しばらくひるねをした。ねすぎてねすぎてどんのうつのも知らずにねて居た。眼をさまして、時計を見ると、もう三時であつた。また永登浦から客が見ねて居た。弟が湯殿がこわれて居るので、びつくりして居た。弟があつい〳〵といふので、山へ伴れていつてやつた。しばらくすずんで、山をおりた。途中で弟のげたのはながきれたので、せおつて下つた。かへつたころには腰の骨が折さうであつた。夕方弟をつれて散歩へ行く

△それから弟の守をして 西大門小學校尋三 世良明代

○七月三十日(日曜)天氣晴 今日は、明治天皇が、おかくれになつた日なので私は朝早くおきて、顔やからだや手足をあらつて、ふしみのもゝ山の方に向つてさいけいれいをしました。それからおとうとのもりをして、おちやわんなどあらひました。そしてごはんをたいて、ひちりんに火をおこしました。

△まゝごとをして 西大門小學校尋二 宮崎恭子

○八月廿二日(はれ) おひるごはんいただいてから、まゝごとをしてあそびました。私はかあさまになつて、私のいもうとはねえさまで、いもうとのおともだちは、いもうとよりせいがひくいから、いもうとになりました。

△お父樣の洋服を著て 西小門小學校高一 工藤秀二郎

○八月十七日(木)晴 五時半起床、やはり上天氣であるから、土用乾をした。弟は洋服が出たので大歡び、此の暑いのにお父樣のを二著も著て、ビールの樽の樣になつたので大笑ひ。午後醫者に行つた。夕方兒居さんに誘はれてパゴダ公園に蓮見に行つた。なか〳〵の人出であつた。歸りには月が出て晝の樣であつた。

△水くみとおせんたく 西大門小學校尋二 橋逸幸

○七月廿七日(日)はれ けさはやくおきて、だいどこの水がめをみ、せんたくをし、そうぢもして、おとうとのこもりをしました。おひるごはんをたべて三木さんのうちに、いきました。よる、おとうさんと、いもうとと三人でしようぶのよいちに行きました。

△うれしいほうづき 西大門小學校尋二 有賀美佐子

○八月三日(はれ) けさ、あさがほのはなが二つさきました。ほうづきばたけにいつてみましたら、ほうづきが四つ五つ、あかくなりかけてゐましたから私はうれしくてうれしくてたまりませんでした。

△大な波がよせてくる 西大門小學校尋三 大塚粹

○八月六日(日曜)はれ 今日は、はれましたので、午前しやうていりの方に行きました。石や貝をたくさんひろひました。今日はたいそう波があらうございました。出る時水をあびました。ざつと來る波は大な石にぶつかると一丈もはね上りました少し波打ぎはにくるとこはいです

△蟬捕りに 西大門小學校高一 大友藏之助

○七月三十日(日曜日)晴 近頃は蟬がだいぶん多くなつたと見えて、あちらでもこちらでも鳴聲がするので、午後遊竿のさきに蚊帳ぎれの袋をつけ弟をつれて蟬取りに出かけた、山の中程まで足を進めると所々に鳴聲がする、まづ近い所からと足音しのばせて二三間も近よると、はたと鳴聲がとまつた、いま居たやうな木をさがすが少しもわからない、しかたがないので、あちらのと思つてそばによると又た鳴聲がとまる、するともとのせみが鳴き出す、こうゆうぐあいに一匹も取らずに空しく歸つた。今日は明治天皇の四週年祭、今から四年前東京千駄ケ谷小學校に居た時、朝四時から程遠い神社に御病氣のおなおりを祈つたがついに明治四十五年七月三十日この世をさらせたまふたのである。

商況

東京株式特電

十一日	前場寄付	大引
日本郵船	三二九、〇〇	三三九、二〇
京城電燈		
鐘紡	三二〇、七〇	三三〇、二〇
同新	一六〇、二〇	一六〇、二〇
日本麥酒		
東株	[illegible]	[illegible]
東株新	[illegible]	[illegible]
東新第一	[illegible]	[illegible]
東新第二	[illegible]	[illegible]

諸株弥騰す

債券現物特電

二日出來値段(前日との比較) 東洋拓殖 京城電氣 朝鮮銀行 朝鮮瓦斯 南滿鐵道 [illegible]

東京公債直取引特電

十一日出値段(前日との比較) 五分利特別 甲號四分 二回四分 一回五分 二回五分 九七、〇〇 [illegible]

深川在米特電

十一日現在高 內地米 朝鮮米 外國米 三二、五一九 七一、四〇六 一、五八三、五八六

東京期米特電

十一日前場 十一月限 五一、五〇 五二、〇〇 五二、八〇 五二、七〇 後場 [illegible]

大阪株式特電

十一日後場 九月 大阪株式 東京株式 [illegible]

大阪三品特電

大阪期米特電

十一日後場 九月限 八月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限 五〇、五〇 五〇、九〇 五〇、九〇 五〇、八〇 五〇、九〇 五〇、五〇 [illegible]

下關期米特電

十一日前場 當限 中限 先限 寄付 一四、六八 一五、四三 一五、〇九 買氣强き順季低され

雜報

[illegible]

◉裏地金巾高し 東地相場の變動如何に拘はらず今一段相場の上進あるべし〜金巾類は染料及び生地高の影響を受け大體に相場の高き上內地市場に於ては地方注文案外好況を呈し殊に凶作悲觀を傳へられし東北地方は豫想の成績頗る良好なりし結果同地方面の注文は却つて平年以上に上りたる等旁昨今の相場一割五、六分高は前年に比し印度物の見込高は生地は更に前途は更に一層の强硬を期待せられつゝあり

◉製綿は漸騰 近來原綿の昂騰を續け來りたると綿糸界の活躍せる等製綿市場に取りては四圍の情勢總て强材料に充たされ此際本品の需要期なるも迎へて漸次價格の昂騰を促がしつゝあり最近內地市場にては製綿價格三割高を發表せりと傳へ茲許又約一割五分方を引上げたり

◉木綿類昂騰 本品類は目先需要季節にて漸次賣行良好なれば相場も自然に進し市場活況を呈す而して何分原綿高に連れ逐日上進の氣配あれば先行安値の見込立たず此處需要者の買入場所としては好機會なる可しと

◉砂糖は持合 砂糖は目下大里糖ゼー十二圓六十錢稍强 十二圓八十錢を唱へられ居る京城市況は仁川市場にては更に十二圓四十錢處の手合せもあるが氣配は弱含み頭圓へ居れり

下關相場

◉澱粉稍々强硬 澱粉は依然强硬なる態度を持しつゝありて其後製造も水量の增加と共に著々歩を進め居るも何分出廻り期が出廻り期にして模樣なりし爲め時期が出廻り期に入りつゝあれば漸次出廻り模樣を見るべく尙ほ目下産地は見越筋の買進み行はれ居る由なれば一般生産者は强硬に出でつゝあるものゝ如く而しながら集散市場の各專業筋は傍觀の態度を示し何等活動なさゞるのみならず甚だ冷靜の姿なるが此處には所謂商策の潜在し居るものならんか兎に角斯界の氣配は稍や引締り居る模樣なり

◉金巾類好望 綿糸布の頭日來不勢に趣れ大阪綿布相場又下押しなる報じつゝあるが印度輸出は依然好況にして本月初め更に新規約定行はれし模樣にて大阪市場に於ては三井物産の大買物ありたる趣也故に此處本品相場の下押しも單に一時的の現象なるやに見越されつゝあり殊に當地の如き現下內地相場に比較し一般下値を叩き居れるのみならず需要季は鮮盆後にある事とて此間內

◉朝鮮白米は弱保合 依然買氣少く市況安しと云ふ物現はれずして別段市況安しと云ふにもあらざるも何分日下の相場は內地米に比し頗る割高なると其後期正米の漸次不勢に連れ一層買人の手控へ居る爲め先安觀れ行き鈍商況面白からず其後の輸入は二百九十俵なり

△大豆は先づ保合 前報後本市産十俵州産六百五十俵等の輸入あり之しが昨紙既記の如き事情の下に各手持筋の安くは手放し難たる風情ゆゑ別段市況弛まず然れども何分過日來相當に出廻りたる見越しに至りたる折柄此際一般に於て前途に見越して市況振はざる然し買氣の進まざる爲め市況引立たず殊に五島産の如きは捌り物の買入あらん乎十圓處は安けれども一寸買

仁川米豆取引所仲買人

日 仲買店

支配人 十居勝 電二八二番 三八三番

京城正米

日曜前日約十錢方の安氣配なりし反動翌日に至り忽ち人氣を盛返し今日にては引弛み以前より却つて五十錢高の見當を唱へられつゝあるが正米は地方の水害に多少今後の成行きを氣遣ひ居れる節なきにあらざるも今午前中には格別氣配情報も比較的落付き方面なく定期市場も比較的落付き成行きなく手合せにも前日來の氣配を持合居れり

△小豆は格別往はず 其後北海道よりの入電に依れば五等品買込み十三圓五十錢とありし杯各手持筋安くは手放し難たる風情なるも何分頃米更に見るべき商內行はれずして相變らずの不捌けに依り市況引立たず

入見送り居る現情なり

南大門の廻穀

十日分 沃川玄米一九三叺 仁川粃 四〇叺 川仁玄米三〇〇叺 水原白米二五〇叺 仁川玄米三五〇叺 沙里院白米四〇叺 金泉玄米一二九八叺 仁川玄米四五叺 漣川小麥 一九叺 平壤粟 二八叺 十一日分 沙里院麥二四四叺 平康蕎麥二六叺

仁川現物市場

△籾入津少なし氣配は變らざる唱へ △正米入津なし氣配は別段變らず保合を唱へ居れり △小麥入津八百餘叺氣配保合を唱へ居れり

生魚市場

頭日來の時化と鐵道不通の箇所ある等にて昨今兩日共に辛うじて多少仁川物の廻着ありしのみなり氣配は

田中合名會社

[illegible]

▲依然保合ふ 一昨後場大阪 等に到し買方㊀一萬二千餘石㊁㊃各四千餘石㊄二千餘石㊅㊇各千餘石等にて他は小口商內であつた

▲前場の手振 重なる商內賣方へ九千餘石㊃五千餘石㊃四千餘石令㊅㊀各二千餘石㊃㊇各千餘石

ふ迄待てす 日先何れにか分岐するの機運に接觸せんか意外の大變動を演出するは云なる買物潛み居る振り合なる節此處難き形勢であるも一面押目は又有力

依然賣氣旺盛の行徑へ と見るや忽ち賣物殺下し來る等倚ほ當地の天候回復したらも早魚の盛にての如き振り合であつたが何分入氣は弱き

存外買氣を刺戟 一昨日來相場は

日 の無難 本日は

日 は大厄日 二百二十日

◉兵庫大阪天候 前場寄十五圓〇二錢大阪天候小雨十五圓〇九錢の入電に接し

◉十一日前場 大阪二節十五圓〇三錢三節十四圓九十九錢の移り

仁川期米

兵庫大阪前場

利 仲買店

仁川米豆取所仲買人 二六三五 電信略號 電話九〇 送

市場寄聞

▲前場小變動 天候一昨後場

▲依然保合ふ 一昨後場大阪

仁川米豆取引所

十一日の十一月限

平均値段	前場	
一節	寄付	十二圓四十六錢
二節	止め	十二圓四十四錢
三節	高値	十二圓四十八錢
四節	安値	十二圓四十一錢
五節	出來高	三萬石

賣買取組高 九月限 一萬石 十月限 七萬三千五百石 十一月限 七萬三百石

九日後場 前日と比較 [illegible]

小賣白米

現金賣 一等白米 十六錢 次 白 十五錢五厘

▲眼先果して如何 一昨日來の豪雨にて又復各地出水ありて鐵道の障害其他被害も少なからず[illegible]

▲尙展開せず 相場の大勢前[illegible]

▲厄日無難 本日は恰も大厄日たる二百二十日に相當し兵庫は曇天小雨を報じ居るより買れば厄日は無難に經過するならんと思はれたる當地は前項の如く一昨夜來の大雨にて各地方の水害を案じ居るも未だ詳報なく[illegible]

▲馬山浦の電報に依 朝鮮大雨地方又復洪水の報に接し[illegible]

▲全羅忠淸及慶尙道方面には洪水の報あり[illegible]

▲強弱の勝入頗る宗[illegible]

▲高一層增加[illegible]

▲大に賣る 今前場同店より賣りたる玉數九千餘石に上りたりとの事一面三千餘石の買ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲大に買ふ 前場同店より賣りたる玉數無慮一萬二千餘石に達したりとの事一面四千餘石の賣ありたるも注目を惹いたり

▲宜能く買ふ 前場同店より買たる玉數四千餘石に上りたりとの事一面小手石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり

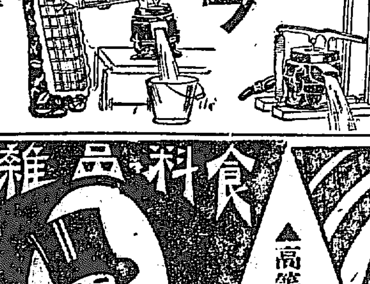
▲結局保合に 前場[illegible]

▲奇跡安 [illegible]

▲冷氣に買物多 [illegible]

▲各地水害案 [illegible]

△辟易せし △不時の買 △遠大なる[illegible]



御申越次第目錄送呈 朝鮮一手特約販賣 京城本町二丁目 釘本藤次郎商店 電話四五番 二七七四番 振替京城二五六番

家庭用 灌漑用 ポンプ 松田式ポンプ

洋鐵 洋釘 浪平板 福田又京城支店 京城南大門通三丁目 電一二二一

內科 小兒科 花柳病科 眼科 山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番 呼吸器病專門 胃腸病 山田萬作 (入院隨時) 尾形周太郎

期 米 今延商店 致富之栞進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 電話 [illegible]

鹽 龍山製鹽所 各種食鹽販賣 製物委託販賣 龍山元町四丁目 電話龍山四〇七番

溫陽溫泉 閑靜にして避暑避寒に宜し

食料品雜貨 ◎青竹 釜山港 島末 材木店

▲高等 洋酒 雜貨 食料品 福榮商會 信濃電氣製カーバイト サクラビールとダイヤ燒酎特約店 釜山辨天町一丁目 電話一一三番、三二九番

內外 雜貨卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八〇二番

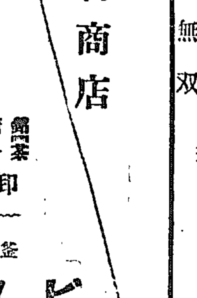
月刊商報發行送呈 板硝子輸出入商 釜山本町 村上元治郎 ◎舶來洋品及物入荷

釜山本町三 近藤商店 電八六七 振三五八 日鮮雜貨 鍋釜 金物 卸問屋

釜山 著名商店

洋酒罐詰 卸問屋 糖粉 石油 煙草 荷札 釜山辨天町 ピワコ屋 長電七〇五 振替京城一六五〇 (月刊物價表發行)

醇良無双清酒 品質無双 無害衛生



首藤合名會社吟造 精白米御小賣 キリンビール サッポロビール 醬油 甲萬 各種 三矢 布引 サイダー シトロン 各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町 (電話一七一番)

目下家庭寫眞が大流行 何時にても御家庭へ伺ひます

寫眞の好期節になりました

夜寫は五千燭光窒素電球を以て晝と變らぬ樣寫します

京城南大門通三 電話一〇四〇番 京城寫眞館

十銭書籍券を呈す(但何書御購求の[illegible])記に限る)

△英國領事館 △拓殖銀行 △東洋拓殖 同 十五日 同 十六日 同 十七日 同 十六日 同 十七日 同 十八日

報 ・ 水 測候所 前日 最高溫度 最低溫度 華氏二十六度二分 攝氏 二十四度六分 [illegible] 年 社 拔 日 拌 三月十八日 十月二十日 九月廿二日 九月廿八日

宮本武藏

第百五十六回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

此時毛利宗意軒が一同の百姓に向つて『宗』モウ恁うなつては致方もない上役人を殺し寺々を破壞して見れば立派な反逆だ、誅伐は免る〻事が出來ぬ、拙者の考へには此切支丹宗を再興しやうといふのは全く諸人を救はうといふ爲だ、其理山といふのは領主寺澤兵庫頭堅高、領分の百姓に運上課役を申付け瀕潰の魚市場より運上を取立て、港口には番所を立ち出入の船に役錢を申付け、家中上下奢りを極め、島中の村民困窮一方ならず、先祖傳來の田地を捨て國中を去る者の少なくない、第一近年切支丹宗を嚴重に制禁し、其ため諸寺の住僧濫りに掠家を貪り、法衣を借りて民を輕しめる、上は民を以つて本とし、民は職を以つて本とす、上に惠みのなき時は何れの地に身を寄せるか、近年切支丹を頻りに制禁せられるが何等の害といふことを知らぬ切支丹の本國羅馬といふ國では一人の法王があつて仁心深く、信者には金銀を與へ、又市には養老院、育兒院などといふものがあつて老人や小兒の頼りないものを引取つて養育する亦施藥院といふものがあつて病人には藥を與へ、他國より來るものは十年間造り取りをさせ、其後僅かの運上を納める、其れがために盜賊といふものがない、氣候は温かにして年に二度づ〻實る、金銀豊かにして勞さずして生活が出來るといふ、何と各々恁ういふ結構な國に往つて命終れば忽ち天上界へ上り、天帝如來の御側へ參られる、有難い事ではないか、恁ういふ國へ是非各々を案内したいが併し萬里の大海を超ねるには漁船などでは渡海思ひも寄らんされば彼國より迎ひの軍艦來るを待つより外はない、併し之れは來春にならなければ參るまいから其れまで如何して天下の敵を引受けやうか、今にもあれ追討の軍勢此處に乘込來らば何等の手段を以つて之を迎へ戰ふ事が出來るか各々好き考へあらば腹藏なく申さつしやい』此時蕐塚忠右衞門進み出で『忠』毛利氏の仰せ尤もも、罪は上役人を殺害し寺々を燒拂つたに相違ないが併し耶蘇宗の日本全國へ廣まるといふ、其宗旨を妨げるは取も直さず天帝如來の宗敵だに依つて切捨て〻差支ない、宗旨取立つ爲に一揆を起し今日を吉日として旗上をなし、富岡の城を乘取り、之に立籠つて唐津勢押來つたる時は只一戰に追退ぞけ一泡吹かせ呉れべし、各々志を一にすれば天下の大軍來るとも恐る〻事はない、勇名天下に輝した織田信長石山を攻る事十年間、なれども一萬八千の宗徒志を同じくして之を守り、終に攻倦んで和談した事もある、今日は大阪の戰ひ濟んで二十三年太平打續き、武士共奢りに長じ、武術は廢れ忽ちの間に追捲らん事、掌を返すよりいと易し之れだけ集まつた人々が宗旨取立のために命を抛つて一揆を起したら天下を覆すなどは容易い事と存ずる』といふ言葉に隨つて大矢野軒山千々輪大江の人々『成程勇ましき仰せ、同じ捨てる命なら宗旨のために我々命を捨て〻、天下に其名を揚げ死しては天帝如來の側へ參つて仕へやう、速やかに旗を上げて富岡の城を攻取つては如何』と云ふと一同の勇氣忽ち盛んとなり○『イヤ其は什麼も宜い考へだ、天帝如來樣のためなら死んだ所で惜しい事はねへ、やつつけろ〱』と一人がいふと數萬の百姓一同にワーツと鬨の聲を上げ、勇氣益々盛んと相成つた、玆で俄かに竹槍竹束、紙旗莚旗など、いふものをドン〱造りまして何れも身支度をいたす玆で一同が誰か大將を決めなければ不可ぬといふのを毛利宗意軒が『宗』少し待なさい、ヒヤシエルの末鑑にも天童降邦域といふ名文がある此度切支丹の宗旨師ち日本國へ流布いたすに就いて天帝如來一人の奇童を此處に下し賜はる、其れを大將として事を擧ぐれば何事もならんといふ事はない、萬事我等に任して置かつしやい』と一同を制し、軍令を定め、組頭を立て指揮をさせる、篝火を焚き兵糧米を運び、村々の老若男女追々之れに馳集まる其勢ひ凄まじき有樣。

時節柄衛生を重んぜらる〻御方は
カフエータイガーの西洋料理が最適當と存候、清潔でおいしい事は京城第一との好評を頂き居り候
京城南大門通三 電話二五七一番
發賣店の呼物ハイカラ丼一人前廿錢 遠近に拘らず出前可仕候

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

九月十三日九星
舊八月十六日 癸丑
木命八白 艮 定 大安

▲八白 指揮に來る事が有る日新事見合東方は吉 略勵良▲九紫 潤利の日轉居行商入門名弘披露金談婚禮妻子女を定る等萬吉▲一白 物の蜘蛛を意味する日新事掛着事は吉一切のかけ事せぬがよし▲二黒 困り難き相談事有る日新事手掛着事は吉 持信の口入等を禁ず▲三碧 兄弟爭ふが如き事有る日注意 新事手掛常の事は吉▲四綠 平運の日物の下賤な辞は吉 新事手掛着事慮は妨なし▲五黄 押實手義の事有る日新事手掛着事は吉保證紹介等せぬがよし▲六白 利分ある日轉居行商 入學名弘金件 求職等 旅行 結婚 讀書山薬等は吉▲七赤 順潮の日轉居 旅行 入學 造作 求職 遊興 他件定明業等萬吉

健康美の發揮

新凉肌に爽かな秋を迎へて

血色益々麗しきは平素召す

婦人良藥 中將湯 の効目で

身に婦人病なき何よりの證據

主治効能

◎子宮病子宮内膜炎にて白帶多く前腰れ又下腹腰足の引つり痛む人
◎婦人神經(ヒステリー)血道にて氣鬱癇高ぶり物を苦にし夜眠れず
◎月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡しき人
◎逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え◎息切れ動氣強く手足痺れ水腫れ
◎十七八歳になりて月經なく血ぶとり又た月經の前後に下腹痛む人
◎白帶赤帶帶下多く顔色蒼白き人◎冷症にして難産流産の癖ある人
◎產前何となく常ならざる人。嘔吐產後古血の滯り。或は日立惡しく
◎此他子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〱と惡しき人

定價

二日分 二十錢	四日分 卅五錢	一週分 六十錢	二週分 一圓十錢
三週分 一圓六十錢	五週分 二圓五十錢	十週分 四圓五十錢	廿週分 八圓五十錢

○加減藥あり容態詳しく御申込あれ　一週分 七十五錢　四週分 二圓五十錢

本舖

東京日本橋通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六十二番六十三番 振替口座六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南二千五番 振替口座四五六番

■中將湯は世界到處の藥店にあり

婦人衛生手引 御申込次第無代進呈

本書は月經時の手當を始め、婦人諸病の完全なる家庭療法、產前產後の攝生法等を知名の專門醫學士が親切平易に述べられた婦人必讀の寶典で送料郵券二錢を添へ御申込みあれば無代進呈す

京城日報

（明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可）　（毎月休刊無し）

十二日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金七十五錢　郵税一ヶ月金十五錢

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲雜報内一行金壹圓貳拾錢　▲所指定一行金壹圓

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號（編輯用三四五番　營業用二六番）　振替貯金口座番號京城三〇〇番

米國の財的發展

京城日報

歐洲戰爭によりて各交戰國が鉅額の財力を消耗しつゝある一方に、漁夫の利を占めて世界最大の富金國となれるは北米合衆國なり。實に運命は彼國をして最も幸福ならしめんとす。此の大戰亂が永引けば永引く程米國の利益は增進すべく、平和の國が戰爭によりて利益を收むる所に吾人は合理的矛盾を認めざるを得ず。此の戰爭によりて今日までに米國が如何に經濟上利益する所の大なるかは、茲に精確なる數字を以て詳記する能はざるも、此程同國に於て歐洲戰爭の同國經濟界に及ぼせる影響につき調査せられたる一端を見るも如何に米國が桁外れの利得をなしつゝあるやを窺知し得べし。本年上半期末に於ける米國の銀行資產總額は邦貨に換算して六十億圓に達し、鋼鐵の生產高は米國ありて以來未だ曾て見ざる增加を告げ、各種製造工場は全能力を擧げて動くも尚ほ足らず職工は破天荒の賃銀を收め、銀行預金は每月六億圓づゝを增加して今や五十億に達せんとす。全國の鐵道は其輸送力を最大限度まで發揮するも尚ほ貨物の停滯を愁へ、其の收入は最高の記錄を作りつゝあり。本年三月までに米國より歐洲に輸出せし軍需品は十二億圓に達し、本年の貿易額は無慮百億圓に上るべしと豫想せらる。米國に於て未だ今日程貧富の階級を通じて絹物の使用せらるゝとなしと稱せらるゝに徵しても、如何に米國が今日巨富を收め、國民個々の經濟の豐富となれるかを知らむ。今や米國に於ては、歐洲戰時中如何にしてより多く利益を獲得すべきかの方法が講究せらるゝと同時に、戰後に如何に處分すべきかの問題が爲政家財務家の間に熱心研究論議せられつゝあり。歐洲戰爭が終結するの日は、軈て米國が其の鉅億の富力を提げて世界的に經濟上の活動を試むるの時なるべく、現に今日米國人の歐洲戰後に處する意氣は旺なるものあり。各交戰國が經濟上戰時に失ひし所を回復せんが爲には、米國の供給を仰がざるを得ず、否歐洲列國のみならず、米國の經濟的發展の爲めに露領、支那、小亞細亞、南亞弗利加等何れも有望の市場たらざるはなし、若し夫れ南米の如きは殆ど米國の力を以て、最も集約的に開發せらるべき運命にあり、斯くて米國は將來世界の市場に於て最も强大なる經濟力を發揮するに充分なる武器を有す。之れ實に米國人の現に有する抱負たる也。斯の如き大抱負を以て、彼は將來世界の表に飛躍を試むべく、殊に其の東洋に於て如何に經濟的發展を試むべきかは、吾人の最も今日より豫想し觀察し研究し措くを要する重大の問題にあらずや。

郵便爲替雜話（三）

矢野通信課長談

（五）郵便爲替以外の送金方法●郵便爲替又は銀行爲替以外の送金方法にして郵便に依るものは（イ）振替貯金（ロ）價格表記郵便（ハ）國際返信切手券の利用等に依るものあり。尤も振替貯金に依らんと欲せば送受者の一方若くは双方が振替貯金口座の加入者たるを要するのみならず送金の手續上原簿所管廳を經由するを以て郵便爲替に比すれば多少時日を多く要するの不利あり。又價格表記郵便に依るときは受取人に於ては頗る便利とする所なるも郵便爲替に比すれば多額の料金を要するの不便あり。又外國へ宛て小額の送金をなさんとするものは國際返信切手券を利用するの便あり。同切手券は一枚に付金十二錢にして名宛國に於て我十錢に相當する郵便切手に引換得べきを以て小額の送金には利便なりと云ふべし。

（七）郵便爲替金拂渡通知又は拂渡濟否取調●郵便爲替の振出人にして其爲替金の受取人に拂渡されしや否やを知らんと欲せば爲替振出の際郵便又は電信に依る爲替金拂渡濟通知の請求をなすときは其爲替金の拂渡を了したるときに於て郵便局所より其旨差出人に通知すべし。其料金は郵便に依るときは爲替一口に付金三錢電報に依るものは該電報料金相當の金額を納付するを要す。又差出人にして爲替振出後爲替金の拂濟なるや否やを知らんと欲せば其旨を郵便局所に請求せらるゝときは受付郵便局所に於て相當の調査をなすべきも拂渡局所又は管理所の場合には前項と同率の料金を要するものとす

（八）郵便爲替證書の有效期間●郵便爲替證書の有效期間は其發行の日より六十日間なるが其期間滿了の日より三箇年間内に於て再度證書の交付又は爲替金の拂戾を請求せざるときは其郵便爲替金は國庫の所有に歸するものなるを以て郵便爲替の差出人又は受取人は期間滿了後爲替證書の再度證書の交付又は拂戾金の請求を忘れざる樣大に留意せられたし現に大正二年度の如きは内國郵便爲替の國庫に歸屬處分をなせしもの通常爲替一千九十二口其金額七千九百八十三圓電信爲替二百二十八口其金額一千九十一圓小爲替二萬六千五百七十九口其金額三萬四千八百三十餘圓に達せりと云ふ

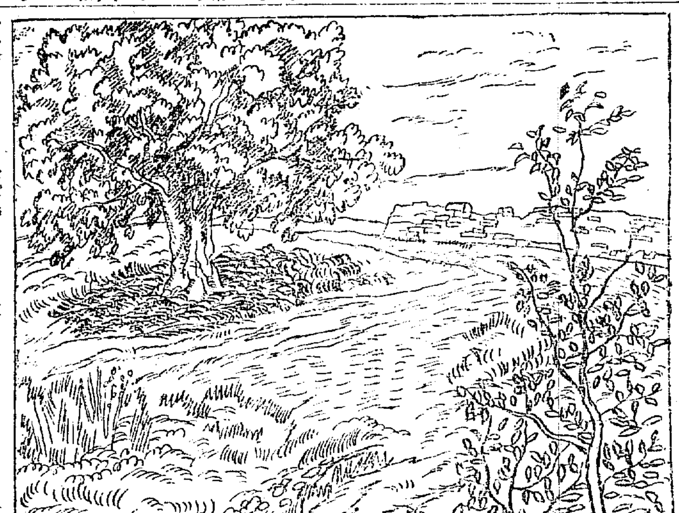
（九）各國郵便爲替の狀況●世界に於て内國郵便爲替の利用の最も盛んなる國は口數の點に於ては獨逸國を第一とし次は英、米、佛、露、墺、伊等の順序なるも金額の點より云へば之れ亦獨逸國を第一位とし之れに次ぐは露、佛、米、伊、英、墺等の順位とす今其口數並に金額を揭記せんに

國名	振出口數	振出金額
獨逸	一七、三六〇萬餘口	四〇七、三六〇萬餘圓
英國	一五、五三〇萬餘口	九五、四四九萬餘圓
米國	九、〇五〇萬餘口	一三六、五三一萬餘圓
佛國	六、七六〇萬餘口	一三八、一六六萬餘圓
露國	四、一〇〇萬餘口	一三五、七七一萬餘圓
墺國	三、三五〇萬餘口	六七、〇三五萬餘圓
伊國	二、六四〇萬餘口	二二、七六六萬餘圓

何れも其口數並に金額に於て我帝國の取扱狀況に比し甚だ盛んなりと云ふべし日本帝國の内國郵便爲替の取扱口數は約二千萬口にして世界の第十位にあり又其金額に於ても約二億六千八百萬圓にして之れ亦世界に於ける第十位にありとす

雲の行方

石田富造筆



忘機吟社例會

無佛兄足下　九月十日。夜來霖雨にて寸歩不能致也。小芥君催話この大雨では、今日の例會は、お流れでせう。イヤソ樂週に延會なしては如何。……ハセてうですか。私は支障ありて缺席致します。

私は小永井ですが、今日は急に差支出來て、又復缺席します。どうか御通知なりと……さては禪除先生は缺席か。無佛道人も亦見えず。場中此の二老將なかく、寂寞云はん方なし。忽にして鳩仙禪師詩先づ成る。

仲秋今夜一天晴。孤錫也牽無限情。
山寺瀟々人不到。獨迎月姉聽蟲聲。

古人云。巧遲不如拙速。一讀師は拙速ならんや。金聲玉韻其詩限で可也。これに續いて金石翁々の聲四方に起る。如見曰く。十年構思始めて三都の賦成ると聞く。僕の嚴とするもの。……なしとせんやと。……時に明月松間に……數中に湧く。料らざりき。今夕月下に……聽かんとは。其の詩に曰く

一碧琉璃寒翠碧。山僧倒屣唇門迎。
遣然身在淸涼界。滿地蟲聲燈影輕。

と。……詩成る。而して……

曹溪積雨爲詩晴。○○○
滿欄淸光秋滿地。無觀無識不吟情。

と如水兄曰く。……已にして鳩仙禪師如水を顧て曰く。……

禪林今夜出歲何。我忘吾知名利輕。
欲遂蟲聲賭月行。欲聞有客笑相迎。

例刻になると、會場なる曾禰禪房に、笹雨來會するもの續々。元氣旺盛の白隣猛將先登第一。之に續いて八十餘の老驥が驅りて。關羽然たる長白翁は高り挿うて。如來に一驚を喫せしめたる捨棄翁。小芥君の豫想に反して。三寅、矢山、蒔陽、如水、鳩仙、碧石の面々各一隅に割據した。稍くすると。鳩仙禪師一揖して曰く。僧に如水先生を介して素空禪師の揮毫を乞ひし大幅二張見事に表裝も出來たれば。諸君幸に方丈に案りて拜觀せよと。行きて之を拜觀するに一幅は大藷佃、一幅は中藷佃紙。何れも筆致雄妙。有神韻天來之致。而清脫趣韻。吐香放芳。楚々逼人。拜觀了りて席に復れば今日の課題なる『月下蟲聲』（限庚韻）『天長節恭賦』を示して曰く。我題は雷翁郎事を要すれば宿題となすも亦不可なきなりと。如水兄曰く。今日の課題に付ては僕も疑々思案せしが思茲に至らず雨既に歇みぬれば。或は月下蟲聲を實現するを得んか。又曰く此雨信爲詩耶と。蒔石曰く。如水兄自惚と。滿座不知其何故也。我夢中となり居て其語なし。唯稀倍の庭中を來往するを見るのみ。電話あり

九時半（碧石誌）

稻妻（五の日十の日會吟）

○挿し花なま〳〵し朝稻妻　浮碧樓
○大いなひかりの土の道照り　乙雨
○山蟹のゾロ下る流れ稻妻す　句耳
○烏帽子に稻光し鋪る　平
黍の葉ふるひ稻妻しきり　芳草樓
病院より電話にて翔ける下駄かろき夜なり稻妻　不耆郎

日報歌壇

■松操生（清津）
ねば巨の夜に海にして打ち仰ぐ夕づつ光りはてしあらなく
港べはともし火あかく夜の町をはやるよそへわれまつさまに

■平井忠道（京城）
おほひなる望みをいだき我が心雄々しくあれどいつも淋しき

■楠木たかし（京城）
今日もまた窓下の流れに衣を洗ひ乾くまで寢る乞丐が來し
傳説のまつわる故に悲しかり蛇つきといまわしき名の
生くるてふ最終の望み絶たばやな廣間に咲ける莢竹桃よ

■英夫（京城）
露西亞文の新聞を貰つた嬉れしさに異の色などながめあかしつ
旅役者歸ると聞けば放浪の彼等が群にも心ひかるゝ

■藤村好花（京城）
ものみなが生ける命のよろこびにうち仰ぐ太陽を吾は厭へる
寂し日の早く暮れよと祈る故まだ明るまに灯をともしけり

物品拂下
古背嚢外四十七點
右ハ來ル九月二十六日競爭入札ニ付賣却ス詳細ハ九月十一日朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮駐劄陸軍兵器支廠

告京城分會員
來ル十四日午前閑院宮殿下御通過ニ付南大門驛構内分會旗ノ下ニ參集奉迎送相成度
帝國在鄉軍人會京城分會

釀造用　溫度計　メートル　各種
三本組　酒精計
酒醬油　樋口種麴もやし
釀造器具一式
龍山漢江通十三番地　(S)　末原商店　電話龍山四一七番

日韓書房　新版報告
樗牛全集第六　增補縮刷　日記及消息　定價一圓二十錢　送料十二錢
蔦原著　絶島探檢　十五少年物語　定價五十八錢　送料八錢
岩崎直子著　安產のしるべ　定價九十五錢　送料十錢
岡本米藏著　牛　定價一圓　送料十二錢
戶田猶隆著　誰にも出來る電氣工學　定價一圓二十錢　送料十四錢
京城本町二丁目

實益無比の良雜誌
富之研究　第六卷第九號　九月號
▼農村と產業組合　▼當世商法繁昌の秘訣　▲處生日々の心得　○富强國民の素質　▼黒字守油製造法　○青年出世の精神　○化學抜き卅種　○簡易養鷄成功法　▼疏菜精製工業　○古綿漂白と帶留　▼工業技手出身法　▼流行病者と藥草栽培法　○麥稈眞田と麥作　○持別最近の富の探取　▼縣費廢物利用　▼天保錢會　○成功した寄引策　▼鮮滿巡行記　○天保會報其他
一册十錢　郵税一錢　郵券代用十二錢　一年分一圓廿錢　▼一年分前納者を本誌會員とし各種特典を與ふ
東京神田萬世橋　富之研究社　振替東京二〇〇八二

工學士　扇本眞吉先生　監修
工學士　若目田利助先生
工學士　高津清先生
工學士　村尾栞先生
電氣工學初等叢書　電氣通論
電氣工學初等叢書　電力輸送
破格の安價で平易簡明な附　誰にも分る日本一の電氣工學叢書也。
○各册正價金五十錢、内地送料十二錢、海外十三錢
◎頗る現代の要求に適し、最大好評
○右二册發賣す　○此外各册續々發行す　○四六版約二百頁内外　○挿圖數多　○全部十五册完結豫定　○各册正價金五十錢均一
發行所　東京市京橋區南槇町十三番（振替東京九四一八）（電話京橋四七一七）　建築書院

唐箕、万石、籾摺臼、笕、鎌
及各種農具其他　養蠶器具、機械　肥料、種苗　廉價販賣
京城南大門外　朝鮮勸農株式會社販賣部　振替口座京城三七八番　電話四〇三番

神戶　京城南大門通二丁目　合名會社鈴木商店京城出張所　電話二九二、四二

京日案內

普通
男女事務員並に鮮人通譯至急入用希望者本人來談電話不答　永樂町二丁目交番北　性相學會　210用
御報參上　古本熟心高價買入　是非御試買を乞ふ　本町四　電話二七八一番　吉鼎群書堂　211
古本と古樂器類は信用できる本町　電二五二七　ウツボヤへ　165
自働車運轉手見習壯健者一名入用年廿四以下保證人を要す希望本人至急來談　水標橋通京春自働車商會　207用
松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す　光州加藤自働車運輸部
京城鍾路目抜の場所　貸家　商店向き電話電燈水道付（姓名在社）　203
馬山浦所在宅地四千坪並洋風建物安價にて賣りたし（姓名仁川支局）　125

番外
藥學講習生募集　夜間教授　九月三十日迄に申込まるべし規則書は市内各藥店に配附せり　事務所　黄金町三柿崎政雄方　藥學講習所　209
販賣員募集　新發明品に付て小資本を以て月收卅圓以上あり希望者は至急申込ありたし　京城本町二丁目六十番地　電話二八三三　ホローメン商會　212
通譯入用　鮮人　日本語に熟達せる年齡卅歲前後にて市内確實なる保證人を要す委細本人面談あれ（姓名在社）　213
魔法瓶中瓶取替　銅線　織　柳製專賣鞄　其他色々　京城本町一丁目　高木旅行用具店　206
賣藥店及び化粧品店　至急讓受けたし（姓名在社）　214
京城春川間貸切自働車賃金片道四圓　京城春川間每日午前八時出發　南大門通一丁目　廣橋自働車　電話二一九番　主務　金正淵　195
京城春川間乘合自働車賃金片道四圓　京城發前九時　春川發前七時半　京城水標橋通り　京春自働車商會　電話貳壹參八番　支配人　松田壽男　202
▲高給外務員採用　京城明治町二ノ四六　東京國債朝鮮支部　208
恩給　年金　退隱料　類　低利立替　▲極秘長期融通　▲京城永樂町壹丁目　商品陳列館表門前　江州屋本店　139
ゴム風船　ゴムホース　ツキル　デサック外諸サック其他各種ゴム製品製造卸　京城太平通大漢門前　太陽ゴム商會　振替二二六　電話二九三三　158
內科　小兒科　大和町一丁目（日の出橋下ル）　爲春堂醫院　院主　古城[illegible]吉（電話九二八番）　184

廣告
當會社株主辻川富重ヨリ當社代表者取締役中村十郎ニ對シ大正五年八月四日被告會社ノ株主總會ニ於テ爲シタル決議ノ無効宣言ヲ求ムル訴ヲ提起シ京城地方法院ニ於テ同年九月三日訴訟ヲ以テ口頭辯論期日ヲ十一日午前八時ト定メタリ
右廣告ス
大正五年九月十一日
朝鮮製絲株式會社　取締役　釘本藤次郎

三線聯絡運賃問題(一)

經濟研究會に於ける 和田參事口述概要

京城經濟研究會に於ては目下我が大陸政策上の一大問題たる所謂三線聯絡運賃問題に關して朝鮮鐵道當局者より其の沿革、經過、並に懸案の解決せらるべき歸嚮に就き說明を乞ふ所ありしが本月十一日の例會に於て和田參事より詳細なる說明あり、玆に掲載するは當日同氏の口述せる概要也、

滿鐵の海港運賃政策

鐵道院、朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道の聯絡運賃は、當初各鐵道の地方賃金即ち各線任意に制定したる賃金の合算額を以て其の直通運賃と爲せり。而して各地方賃金中鐵道院及び朝鮮鐵道に於ては特別なる制度なかりしも、南滿洲鐵道に於ては海港特定賃金なる特殊の制度を設け、滿洲に於ける各海港より奉天以北に至る賃金の總額を距離の長短に拘らず同一額と規定せり。元來遠距離運賃の總額は近距離運賃の總額に比し高額となるを一般の原則とするも、往々特殊の理由に依り例外的運賃を制定する場合あり。海港運賃も亦此の例外に屬し營口より奉天に至る百十哩、大連より奉天に至る二百四十八哩、及び安東より奉天に至る百七十哩の運賃總額を各同一額と爲せり。蓋し營口に就ては特殊利害關係の存するのみならず、同港は冬期間結氷するの不便あるを以て、將來大なる發展を期する能はず、從て大連線に重きを置きたること理由なしとせざるも、歐亞交通從て日滿交通の最捷徑路たる安奉線に對しても、亦同一の運賃制度を施行し、爲に日滿聯絡貨物の輸送に障碍を加ふるは、其の理由を解するに苦む所なり。日滿交通上安奉線經由、即ち朝鮮經由線は大連及營口經由線に比し、獨り輸送の所要日數僅少なるのみならず、海路と異り毎日運輸の利益あり。加之海上輸送に於けるが如き危險なく、且直接輸要地に貨物を輸送し得る等各種の便宜あり。故に當局に於ては一般公衆をして、廣く此等の便宜に浴せしめむが爲め、可及的本線の利用を圖り、或は安東關稅三分の一を減額せしめ或は直通運賃を減額し其他各種の設備を施し以て輸送の圓滑を期したること當然の施設と謂はざるべからず。然るに獨り南滿洲鐵道に於て、本徑路に對して壓迫的運賃制度を設くるは、吾人の頗る遺憾とす

二、關稅及直通運賃の減額

玆に關稅及び直通運賃減額に付其の概要を述べんに、西比利亞線に於ては、千八百九十六年の東淸鐵道條約締結以來、其の第十條に依り、鐵道に依る輸送貨物に就ては、關稅三分の一減額の特典を有せり。然るに我國に於ては明治四十四年、鴨綠江の架橋及び安奉線の完成に依り、鐵道に依り日支國境を通じ西比利亞に於ける露淸國境と同樣の狀態となりたるを以て、日淸條約附屬條約第十一條に基き關稅三分の一減の特典に均霑せむとし同年支那政府に對し之れが交涉を開始したるも、容易に其の承諾を得ず、然れども本制度は朝鮮經路利用の目的の外、西比利亞線との關係上是非共之を獲得するの必要あり、西比利亞滿洲兩線の競爭は兩線の大豆輸送に付て見るに、最も著しきものあり。由來大豆は用途頗る廣汎にして、其の油は食用工業及び燈火の用に供せられ、其の糟は肥料及び味噌醬油等の原料として使用せられ、日淸戰役後日本に輸出せらるゝに至り、頓に其の需用を增加せり。且歐洲に於ては種々研究の結果肥料、塗料其の他の原料に使用せられ、近年著しく其の販路を擴張せしが、滿鐵に於ては其の運賃を低下し、大連に於ける船車連絡の設備を完全にし、又倉庫を設けて保管金融の便を圖り、盛に北滿大豆を大連經由に吸收しつゝあり。之に對し東淸鐵道に於ても哈爾賓浦鹽間一布度に付二十哥の運賃に對し、百五十哩遠距離なる寬城子浦鹽間の運賃を十五哥と爲し、以て大豆の南下するを防ぎつゝあり。如斯競爭激甚の結果、甚敷運賃の低下せらるゝ場合に於ては、關稅の差違ある爲滿洲線は遂に競爭に堪へざるに至るべし。故に我國に於ては自衞上此特典に均霑するの必要あるを以て、大正二年に至り再び支那政府と折衝の上、遂に安東稅關三分の一減の特典に均霑することを得たり。其の結果例の綿布中の價格低廉なるものにして一噸に付七八圓の關稅を節約し得るに至れり。此の金額は大連奉天間の特定運賃の總額を超ゆるを以て見るも、影響の如何に大なるかを知るべし

●段内閣の將來

も理論に於ては議會が政府の大立物…… ては實力的後援を爲さんとする者な…… 武閥的勢力に壓倒され…… 人此勢力を扶殖するに於ては氏の地……

ガリシヤ露軍の奏効

露軍の策戰計畫にガリシヤに於ける大發展あらん 戰況

路透社露都通信員の九日附所報に曰く、ガリシヤに於ける戰況は稍明白となり敵は東方に於てはサカロフ將軍麾下の軍に對し南方に於てはチエルバチ、エフレチツキー兩將軍の軍に對して二個の戰線に於て戰はざるべからざる位置に迄驅退せられたるは明瞭なる事實となりたり最近の公報に示されたる如く露軍の前進はゾノキより十哩乃至十二哩に及び目下ハリツの南北兩方面に在り東方より近距離砲擊を以て敵を潰亂せしめたり又露軍はグニラリパ河の支流マルユウカ河を渡りて丁度露佛を貫通する唯一の鐵道線を威嚇しつゝあり獨墺土聯合軍は何れもハリツ地方に於て戰鬪に從事し居るが露軍は極度の激戰の末現在の陣地に到著したるものなり軍事記者等はガリシアの形勢を論じて露軍の同方面に於ける成功は敵をして其の範圍を局限せしむる事能はざるものなりとの意見に一致せり獨軍のウラヂミル、ヴオリンスク東南方なるヴオルヒニア地方に於ての對抗敵軍隊移動は何等の結果をも生ぜざりき今後露軍の作戰計畫に大發展あるべしと像期さる新聞紙の軍事記事に國家は軍のガリシヤに於ける作戰行動を以て露軍の總攻擊なりと記し居れり(倫敦電報)

ソンム及ドーモンの戰捷

巴里來電=九日發表の公報に曰く、ソンムに於ては活潑なる砲兵の奮鬪行はれ敵はベルリーの東北に於て逆襲を企てたれども多大の損害を被りて擊退せられたり佛軍は砲擊を行ひたる後ベロア東方に於ける斬壕に侵入し捕虜三千を獲たり佛軍はドーモンの前方に於ける一帶の塹壕を襲擊し之を占領し捕虜三百名並に機關砲若干を鹵獲したり(倫敦電報)

張督軍と匪賊追逐

蒙古軍は今や遠く交戰禁止區域を去りたるを以て最早差したる問題を生ぜざるべきも蒙軍と同伴して退却せし馬賊軍及其の他の匪賊は猶禁止區域附近に在り張督軍は日本の葛藤を恐れて之を討伐する事能はず十一日彼等を交戰禁止區域外に追逐せん事を關東都督府及總領事館に哀願せり(奉天特電)

叙位

十一日文武官百餘名に對し特旨叙位定期叙位の御沙汰ありたり中重なる者左の如し(東京特電)

從四位勳三等功三級 星野金吾
叙正四位
正五位勳四等伯爵 松平直之
正五位勳三等功三級 河内禮藏
正五位勳三等功三級 白井二郎
正五位勳二等功三級 町田經宇
正五位勳二等功三級 尾野實信
正五位勳二等功三級 古海嚴潮
正五位勳二等功三級 藤井幸槌
叙從四位(各通)

露藏券の賣出

朝鮮銀行本支店にては既報の如く十一日より十五日迄第二回露國大藏省證券引受額の賣出しを開始したるが應募額超過すれば十五日以前に締切るべし

許可寺院と宗派

神社寺院規則に依りて今日までに其の資格の認定を經たるものは各道を通じ神社十二、寺院三十四にして其中のもの向ほ妙からず而して前記の寺院を宗派別に示せば眞宗本願寺派最も多く十一を占め淨土宗八、曹洞宗七、日蓮宗三、新義眞言宗智山派二等順次相亞ぎ眞宗大谷派、法華宗、眞言宗高野派は何れも一個なり

朝郵今期成績

朝鮮郵船會社は來る三十日を以て第五期前半季の決算を行ひ十月下旬株主總會を開會する事となるべきが聞く所によれば朝郵今期の成績は海運界の繁忙に連れ朝鮮近海へ廻航する他社及び社外船の隻數減少せる爲め其の運賃率は他社の夫れに比し三分の一內外の低率にて殆んど世界第一なるに拘はらず營業成績は間接的に良好を來し其の收益未曾有にて純益十萬圓を超ゆべしとの事なるが必然一部株主間より增配問題起り來るべし

八月鮮鐵運輸

朝鮮鐵道局八月分運輸收入概算は客車收入三十四萬二千二百零三圓貨車收入三十三萬七千四百八十二圓合計六十七萬九千六百八十五圓にて之れを前年に比すれば十三萬三千零九圓の增加なるが一日一哩收入は二十一圓七十八錢に相當する由

鮮內勞働賃金

七月中に於ける鮮內勞働賃金平均格は大體六月中と大差なし今之を內鮮支人別に示せば左の如し

▲內地人 最も高きは依然石工にして一圓六十六錢五厘を示し洋服職并に戶掘の一圓六十五錢、煉瓦職の一圓六十三錢、木挽、瓦葺の一圓五十八錢、鍛冶職の一圓五十七錢、表具師の一圓五十四錢等順次相亞ぎ鍼力職の一圓五十二錢、指物職一圓五十錢、左官一圓九十錢、車夫の一圓四十八錢、ペンキ職一圓四十五錢、疊職一圓四十四錢、靴工一圓四十一錢、大工一圓三十九錢、活版職一圓十七錢にして人夫は八十六錢なり

▲朝鮮人 車夫の一圓十七錢最も高く煉瓦職の一圓八錢之に次ぎ石工は一圓一錢、木挽は九十九錢、瓦葺は九十錢、左官は八十七錢、車夫は八十六錢、井戶掘は八十三錢、大工は八十二錢、表具師は八十一錢人夫は四十五錢なり

▲支那人 石工一圓十七錢を最とし木挽一圓七錢、大工八十七錢なり

仁川の輸移出米

仁川に於ける玄米及び中白米の輸移出額は本年一月以降八月末に於て既に八萬石を算し之れを前一箇年間に比すれば殆んど伯仲の間に在る狀況にして此の勢を以て推移せば年末までには優に十萬石以上の輸移出を見る可し然れども此の內實際の輸移出額は約六割にして其の他は相場の關係若くは賣買上の都合に依り品位の確定を希望するあり又た本年產米の價格低落のものを生じ又た春來米價低落の爲め檢査濟米にして藏入せるもの等に依つて占めらるゝものなるも道は依然の事なれば數字の增加に對する實際輸移出商は前年に比し遙かに增加せること言を俟たず斯くの如く今年に入りて輸移出數の增加せるは定期受渡米が未曾有の石高なりし爲め各方面より米數を蒐集し檢査米は勿論檢查濟米等續々著し鐵路船舶共に滿載の盛況を極めたるに由るものにして之に依りて內地市場に於ける販路が太だしく擴張されたる證左と見るを得ざるも近時仁川米の聲價は向上し各仕向市場の歡迎を受け圓滿なる取引行はれつゝあるは疑ふ可からざる事實にして米穀改良調製の進步せしを證す可し而して本年一月以降八月末に至る輸移出米の仕向地別及び數量を具體的に表示すれば東京千七百十四石大阪六萬四千四百二十七石神戶八百五十六石名古屋千九百〇五石兵庫三百六十七石大連二千四百九十六石(三斗入軍用米)龍山百二十石(三斗入軍用米)中白米は大連五百十一石青島十石等なりとす

赤字結核治療

日本赤十字社朝鮮本部にては多年總督府醫院及び道慈惠醫院に委託して窮困の結核外來患者に對し施療し來りたるが總督府醫院に於て本年一月より六月迄施療せる患者は十二名にして此の施療延日數四百六十五日なりと

開通如何

安養始興間の鐵道故障は 十四日に復舊か

京釜線安養始興間の不通區間復舊模樣に付其後鐵道當局の談によると何分線路を浸せる安養川の濁水が未だ引かず人の徒涉は辛ふじて出來るが逆る事は出來ない十一日夕刻の現在では復舊工事に豫期以上の困難があるらしい故に徒涉連絡は十二日午後七時五十分發列車迄は多分六ケしく十三日午前八時三十分よりとなり大田長官以下當局は十四日早曉迄に列車を通過し得るやう線路を直す事を主眼とし非常の努力を傾注すべく無論時恰も月明ではあり晝夜兼行工程の進捗を期すると云ふ尙ほ殿下御搭乘の列車の通過までに鐵路復舊せず殿下の御徒步を願ふ如き事は當局の最も恐懼せる所で其の必要を念とさせ出已ならず事實上御荷物の夥多なる等の理由により御徒步連絡の事は困難であると云ふ

經濟研究會

經濟研究會第三次例會は十一日午後六時より京城銀行集會所に開催出席者四十餘名當日は現下朝野の一大問題たる三線連絡運賃制に關して鐵道局の和田參事より詳細なる說明ありて盛會裡に十時過散會したり

黒板博士入京

先般來北鮮地方巡遊中なりし東京帝國大學文科大學教授文學博士黒板勝美氏は十一日午後七時三十分南大門驛著列車にて入京京城ホテルに投宿せり

岩崎參事補出張

鐵道局營業課貨物主任參事補岩崎廣太郎氏は九日東京市に出張を命ぜられたり

●中村主計正赴任延期 軍司令部附中村二等主計正は久留米第十八師團經理部長に榮轉し十日出發の筈なりしも京釜線不通の爲め全通迄赴任を延期せり

●內地新線開始と改稱 本月一日より九州大洞輕便鐵道線中判田竹中間の營業を開始し又東海道本線辨天島假停車場(舞坂、新居町間)を停車場に改め一般旅客手荷物及び小荷物の取扱を開始せり又十一日より關西本線『上野停車場』を『伊賀上野』と二十日より奧羽本線『新町停車場』を『眞室川』と改稱せり

●警察官異動 本月四日附を以て朝鮮總督府警部に新任され同時に左記各署勤務を命ぜられたる諸氏如左

鍾路警察署勤務 古賀國太郎
平北警務部勤務 久山治郎吉
鎭海警察署勤務 影山英妙
仁川警察署勤務 及川敏夫
咸南警務部勤務 國枝總衛

又九月十日附左の通り辭令ありたり

警務課勤務 元高陽署長警視 安藤友熊
鍾路署勤務 元高陽署警部 田口積慧
警務課勤務 同 李常春
京畿部勤務 同 成熙昌
鐵山署長 元朔州署長同 吉川松之助
鐵山署勤務 同 黃靈性
咸北部勤務 金浦署長同 阿部義光
金浦署長 鍾路署同 富田英俊

人事消息

▲李址鎔氏(伯爵) 十一日朝金村へ
▲伊東清七郎氏(仁川海事出張所長) 十一日より三日間の豫定にて入京
▲長井松二郎氏(土木局仁川出張所々長) 十一日夜入京
▲安宅定吉氏(元山水產會社專務) 入京中の處十一日夜退京
▲西尾鍵次郎氏(鑛業家) 十一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ウイリアム氏(米人) 同上
▲阿部秀太郎氏(鮮銀地方課長) 十一日夜平壤より着任
▲萩谷籌夫氏(朝鮮新聞社長) 十日夜內地より歸仁
▲牧山耕藏(朝鮮公論社長) 同安東縣より歸京

南言北語

頃來遊した露國帝國大學教授エリセーフ氏の招待會が某所で開かれた▲發起人の面々苦心慘憺で露語の招待狀を送るとエ氏は奉書の半切れへ墨黑々と自筆で拜復御招きに預り云々とスラく日本語で書いてあつたので先づ吃驚▲愈々當日になつて會場へ乘り込んだ氏を見ると結城縮の單衣に絽織の袴と云ふ五分の隙もない粹な身裝り▲宴半にして主人側から何か餘興をと聞くと『御厚意に甘へて其では芝金さんの端唄をと來たので主人側は互に顏を見合せて目許りパチく▲之れ丈けの日本通は鳥渡珍らしいから殊にエ氏の日本漫遊は今度が初めてだ相なが能くまあ彼れ丈け調べたものだと▲上野博士の馘首問題で事件の中心となつて居る赤十字の小澤男が未だ陸軍でバリくの時分洋行を命ぜられて巴里に行つた▲當時男の副官は誰あらう今の參謀總長上原勇作大將で其の大尉時代であつた▲一行巴里へ到著すると上原副官は早速小澤閣下の居室に伺候し▲閣下に申上ます巴里では彼の方のお世話は私には出來ませぬ▲又其を友人に賴む事も出來ませぬ▲目的物のある場所をお敎へ申す事もお斷り申ます▲コレ丈は今から堅く申上て置ますが但下官は勝手に自由行動を執りますから是丈けは特にお聞き置きを願ます報告終りッ▲てな事で上原副官の方は巴里仕込みの腕に任せて大に活動する始末に流石の猛將も悄氣て仕舞『上原の奴は非道い』と零し扱いたのは頗るお可笑かつたと▲老人の若い中の事を素破抜くのも罪な事だが最う大抵秘密も時効にかゝつたのだらうからナア

新著品

最新型第一回輸入の
イーストマンコダックは
嘗てなき改良を加へたる逸品なり

ベストコダックは
旅行用斯界の明星なり

サイコ印畫は
寫眞界の革命兒とし注文飛ぶが如し

其他
クルホード
ウエリントン
バルカン
アチユラー紙RCD
アチユラー全紙
ベルプロ紙
ウエリントン
カーボン各種
何れも時代要求の新印畫紙なり

紳士貴婦人御持用
極薄金時計
並に腕專用時計各種
記念贈呈用
銀製品盃類各種

織居本店
時計部 電話二六二番
寫眞部 電話三三九番
振替口座京城二二一番

[illegible]の[illegible]光氏の如き[illegible]其通過を危みたる處なるに之れすら多數を以て追認せられたるは表面に於ては政府議會の融合を示す者なる[illegible]の十三省聯盟の[illegible]は直接の關係なきも彼等は皆甚大の信賴を段氏に置き民黨の[illegible]に對し[illegible]鋒鋩を收めて段內閣全部を追認する[illegible]に到れる者なりされば議會は段氏の[illegible]僚の一派を[illegible]議會三總長は民黨の一派を爲し而して若し段氏[illegible]

濁流滔々 近く可らず
線路崩壞數十箇所＝安養川橋梁流失
明治卅九年大被害以來の慘事

今回水害から受けた鐵道の故障は明治三十九年の夏京釜線の殆んど全部が被害を受け、殊に大田、全義間の大被害で約十五日間

▼列車の運轉が不通

であつた時を除いては近來稀れな大故障である、被害の區域は永登浦、水原間であつて殊に甚だしかつたのは始興、軍浦間である、始興から安養驛に至るまでに線路の缺潰した箇所は十數箇所に達し安養軍浦場間も亦同じく十數箇所の線路の故障がある、其の內でも始興安養間にある安養川の出水のために橋梁の流失したのは列車運轉上の一大打擊であると言はねばならぬ、線路の決潰の甚だしい所は半哩に及び安養川の南寄りの橋臺が流れ築堤

▼百五十尺餘り流失

してゐる、缺潰線路の復舊、安養川の架橋工事等のために鐵道局で龍山及び水原方面から二千名近くの人夫を兩隊に別けて派出してゐるが、何分にも肝腎の安養川に達するまでの線路の損傷が烈しいために建築列車を現場まで運轉する事が出來ぬ、隨つて架橋材料の運搬も覺束ない次第で復舊工事の困難な事は局外者の想像も及ばぬ程である、今回の被害に就いては豪雨の當夜から人夫は行つてゐたのであるがその激浪滔々と逆卷いてゐるために全く策の施し樣が無かつたらしい

▼北行旅客は水原驛に滯留 停滯貨物八十五車

水原永登浦間列車運轉不能のため九日午後十一時釜山發の急行列車に乘せる旅客の大部分は水原に滯留しつゝあるが開通までは如何ともする能はず、亦鐵道貨物は釜山方面より來れるものは十一日午前までに水原に十車、成歡に十三車、大田に三十一車、新義州方面より來れるものは南大門に七車、龍山に三十四車合せて八十五車各驛に停留しつゝあり水原以南にあるものは主に內地より來れるものにて京城、平壤、鎭南浦、安東縣、新義州方面に輸送さる金巾、綿絲、綿布等にして龍山南大門の兩驛に在るものは石炭、木材等が主なるものにして鮮鐵沿線に搬送さるゝものにて鐵道局營業課より係員出張開通後に於ける該停滯貨物の發送順序等に就き手筈を定めつゝあり開通と同時に最も敏速に之れが發送を爲すべき筈なり

▼郵便物の大輸送を開始す 矢野通信課長談

京釜線安養始興附近の鐵道十日朝より不通に付內地及び釜山方面より京仁以北行きの郵便物は全部水原に停滯し京仁以北より內地方面行きは京城に支かゆる事となつたから京城郵便局には行囊百數十個の山積を見るに至つた然も十一日の所では鐵道の全通期も徒步連絡期も判然しない但し郵便物は何等かの方法により速達の途を執り得るならば執らねばならぬから當局では京城、郵便局より係員を派し其の監督の下に約八里の國道に沿ひ人夫百數十人及び駄馬多數を出し停滯郵便物の大輸送を開始したから內地方面の郵便物は多分十一日夜同夜配達の間に合ふか否かは不明だが京城に到著又は京城方面停滯の郵便物も水原に逆致し斯くして鐵道全通まで相互の連絡をとる事にした云々

白皚々 白頭山の降雪

十日白頭山支脈南雪嶺に降雪あり西方山嶺白皚々として冷氣肌に泌む(淸津特電)

賊八名惡く逭 銃を携帶す
姉婿と共謀して實父の家を襲ふ

大邱南町六十五番地[illegible]徐術淳(六五)方に本月四日午前二時頃拳銃盜賊侵入し同家の雇人禹道吉(三六)の右胸部に盲貫銃創を負はせて逃走したることは既報の通りなるが其後大邱警察署にては極力犯人の檢擧に努めたる結果賊は被害者徐術淳の長男徐相俊(三〇)にして同人は父の所持金を强奪せんことを企て姉婿たる大邱德山町居住の金鎭萬(四二)と共謀し鎭萬は其實弟なる達城郡壽城面黃靑洞居住の金鎭璟(三六)を語らひ其他大邱橫町崔內奎(三八)南千代田鄭雲明(三三)慶州郡外東面鹿洞村尙鎭(三三)及び外一名合計八名一團となりて襲擊したるものにて六名は屋外に見張りをなし二名は侵入して前記の如く拳銃を發射したるも一物も强奪し得ず逃亡せしが賊は八名共何れも各手に拳銃一挺宛を携へゐたりと而して前記七名中五名は本月五日自宅にて逮捕され一名は釜山にて一名は京城にて何れも翌六日取押へられ取調べの結果拳銃四挺及び實彈二百三十八發を發見押收し他の一名は目下嚴探中

飛行場六十五萬坪
飛行隊第二大隊の新設

岐阜縣稻葉郡鏡河原に陸軍飛行場新設に付敷地買收問題に就き多少の行惱みの模樣なりしが九日に至り總面積六十五萬坪を以て之に充つる事に決定せり飛行隊設置飛行將校の養成等は明年度より取りかゝる筈なるが新飛行場には所澤第一大隊に對し第二大隊を置く事とし明年中に一箇中隊を置き漸次擴張の豫定也(東京電報)

工傳所の出火 直ちに消し止む

十一日午後三時四十分頃京城東崇洞京城工業傳習所分析室より出火し屋根裏に燃え移りしが報に接し京城各常備消防隊は直ちに驅け付け消防に盡力したるを以て同建物の屋根を半燒したるのみにて同四時全く鎭火したるが同分析室は本館の一部に位し死葬平家約四十坪の建物にして各種の藥品を多量に所藏し居りし事とて一時は仲々の混雜を呈したり原因は試驗用瓦斯の爆突より瓦斯熱湯油し出火せるものにて損害高に就ては目下取調中なり

巡禮姿で不貞の妻を探す
八年間の辛苦

仁川府居住の鮮人で以前は相應の財産を貯へた李(三七)と云ふ農夫があつた此男の女房が八年前李の不在中鄰某(三十)と云ふ男と情を通じ其儘行衛を晦ました李の女房は當時姙娠中であつた李は勞働者でありながら女房に棄られた李は少さな時天然痘に罹はれ半盲目になつた身體であたたが不貞の女房よりも女房の腹中にある可愛い小兒が可愛想だと云ふので金に任かせ人を雇ひ自身は巡禮姿になり南から北迄全半島中を八年間巡り步き財産も使ひ果し辛苦を嘗めて今夏仁川に歸つた時幸にも不貞の女房を發見した調べて見ると出家當時腹の中に居た小供は男兒で七歲になつて居るので大に喜びながら女房は不用だが小供丈け取戾したいと云ふ事を其筋へ願ひ出でたやうである

淸津の二百廿日

淸津地方に於ける十一日の二百二十日は天候快晴に復したるも風强く海上風波甚だ高し氣溫は華氏五十八度を示せり(淸津特電)

二百二十日の天候
全鮮快晴にして平穩

仁川觀測所の觀測に依れば低氣壓は漸次北東に進行して日本海に進出したれば十日正午頃より北西風吹き溫度下降し全島快晴となれり十日の二百二十日は內地は大概天若くは雨天なるも朝鮮は北の風强く快晴にして溫度は平年より一度乃至二度低く概して平穩なり十一日午前六時に於ける各地方の天候を示せば左の如し

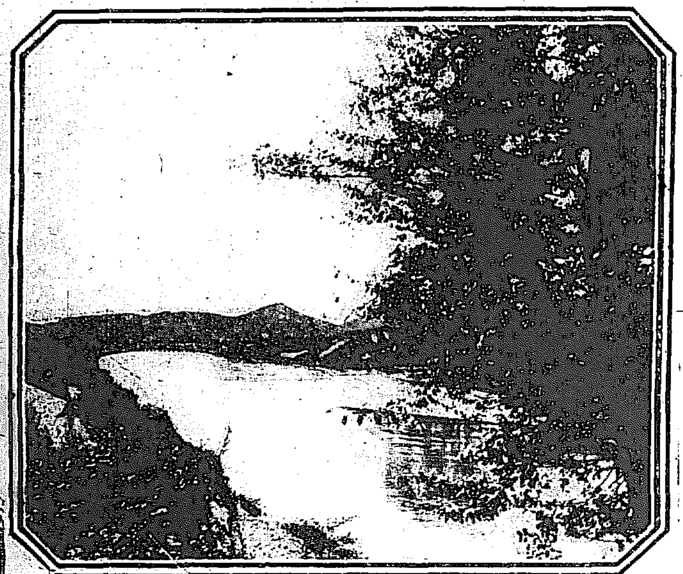
地名	溫度(攝氏)	風力	天候
釜山	二〇、〇度	軟風	快晴
仁川	一五、五	强風	晴
京城	一四、五	軟風	曇
平壤	一二、二	同	快晴
元山	一五、五	强風	快晴

重婚は無罪

忠南論山郡光石面葛山里居住趙姓女(三一)は大正四年九月中公州郡灘川面東里の趙鳴玄に嫁し同棲中本年舊六月十三日逃走して公州郡木洞面山儀里の玄德三の處へ行き爾來同棲中を本夫に發見せられ重婚の告訴をなしたるより公州地方法院に於て審理中の所重婚は無罪の宣告を受けたるより立會檢事より京城覆審法院に控訴したり

窃盜支那人

仁川支那町居住の周炳南(一八)及び周芳淑(三二)の二名は共謀して主家に忍び込み商品を盜み出したる事發覺し審理中なりし所芳淑は懲役十箇月炳南は懲役二箇月罰金廿圓に此程處罰せられたり



初秋郊外十景(九)

降り續いた雨に草も木もきれいに洗はれて殊に靑草の色が美しく見ゆる、棉をちぎつた樣な鱗雲が空一ぱいに廣がつて居たのが何時の間にか其のかげも消してしまつた、そして直ぐそばの大木のてつぺんにはカチがギヤーギヤー啼いてゐた、音もなく流るゝ河面には砂が現はしていくつかの島を造つて居る、折々名も知れぬ鳥がおりてきて水面の小さな影げを水にうつして居る、思ひ出した樣に遠くきぬた打つ音がきこへる、靜かな感じだ、東大門外にて――とみ――

漁釣是れから
京城から仁川へ――面白い樂しみ――大潮と小潮――夜間に獲れる魚――船頭の準備――樂しい沖釣り

秋風が吹き初めたので京仁附近で一番面白い遊びが大分盛になつて來た昨今は毎日々々四五十艘の船が月尾島附近から虎島或は八尾島附近に出漁し早朝から綸を垂れ『アッ釣つた』『そら〳〵』を連發し各人競爭の有樣で多い時は一人で素人が

◇三百尾位

の小魚を釣るのは珍らしくもない。それも少さいのかと云ふと今年は二年兒が重に釣れて日下五寸位あるが來月になつたら七寸にはなる素人は釣は何時でも一年中良いやうに考へて居るが仁川附近では潮流の關係から如何しても小潮の時が良い、と云ふのは朝早くから家族同伴で夕方迄辨當の用意さへあれば日曜祭日などには一日愉快に遊漁が出來釣上げた魚類は好みに應じて調理し新鮮な品を思ふ存分玩味する事が出來るからである。沖釣で時今多く釣上げらるゝ魚はグチ、ニベ、アナゴ、メバル、石鰈、鯖鰹、コイチ、チヌ等であつて九月の月にはニベの七本も

◇釣上げて

見る人も相當面白い場所で釣れると云ふのではなく、前記の魚類が全部一定の場所で釣れると云ふのではなく、鯔は八尾島附近だとかアナゴは月尾島附近だとか云ふ具合に場所が變つて居る之れは船頭に尋ねたら充分に其場所を知つて居る素人の釣には小潮の時が良く一日中遊べると皆いたがコレは大潮の時は潮流が早いので船の操縱が意の如く船頭一人で行かぬからであるが

◇大小潮の

差は一週間毎に來るものである今月は十一日から十七日迄が大潮で十七日から二十三日迄が小潮であるから二十三日の秋季皇靈祭などには好釣家が多く出かけるには誂へた樣な時期であらう又夜間釣りの出來る人は夜間出かくるし面白からうが夜間に多く獲れて而も一年中仁川附近で釣れる魚はアナゴでコレも今月と來月は其時節である、船に弱い連中にはヨク汐魚の餌を携へ棧橋海中に浸つて四五時間も續ける人があるが此種の釣で得た魚は如何しても少し沖釣の魚より小形であつて釣れるもの、樂も少ない好釣家が京城邊から出て來てサア釣に出かけ樣と云ふ時に一番困るのは魚の餌であるがソンナ事は心配無用釣具一切から(何も取寄し)需めに應じ生池を準備した小船が飛ぶ樣に出來る

◇船頭附で

から京城からの客は只朝早くから舟遊の用意さへあれば一日遊ぶ事が出來る、餌の如きも三人一組であつたら三十錢購めたら一日分の餌は充分にあるし全くの素人には船頭が餌の附け道を敎へるから宜い一日漁獵に出かけ一尾も釣れない樣な時は男子の一組であれば歸宅して家族にキマリが惡いものだ然しソレだからと云つて居君の手前

◇魚屋の店

に並べてある魚を見詐び買占め歸宅しての魚の身の堅い事から見ずる樣な事がある、こんな場合には生洲に囲つた魚を貰つて來れるから大威張りで歸る事が出來る、沖釣には鯖なども喰ふ事がある何れも京仁間に居る好釣家は昨今の好期を逸してはならぬ(仁川)

今宵ぞ中秋の明月とて
絲瓜の水は今日取り給へ＝月見の宴

◇草花を挿し

御酒を飾つて我が國の秋のしほらしい[illegible]誦つれば[illegible]三日月の頃よりも待たれた今夜の名月、風流人は月見團子を作つて枝豆、栗、柿なんどを供へ、瓶に薄其他の秋の長夜をまんまるの月見の趣味の君に供へし、秋の[illegible]あの月とは一體どんなもので[illegible]其規模に大小の差こそあれ、一として我が地球の[illegible]あるが[illegible]其の面に[illegible]居あり、[illegible]の名殘、よし[illegible]

◇兎が餅を搗

いて居るのでもなければ、月の鼠や月のがへるなどが住んで居るのでもない。其光は日光の僅か五十五萬分の一許の强さで、其溫度は殆んど寒暖計に感じない程微弱であるから、生物の生棲し得る理由はないのである、直徑僅かに八百八十餘里、其の比重は地球比重の十六分の六、其の體積は地球の五十五分の一、太陽の六千百七十四分の一に過ぎないが距離が近いから太陽と同大に見ゆるので[illegible]

◇月迄の距離

は平均九萬七千八百[illegible]里[illegible]

◇無量の感に

打たれたと云ふか、[illegible]

◎六に賣る

[illegible]

▲買能く買ふ

[illegible]一萬五千石の[illegible]五日午前十一時頃海岸町にて出會せし金姓女(三一)なる者を欺きて自[illegible]

◎銀水丸と信濃川丸　大阪より唐津を經て仁川に入港の[illegible]鎭川丸も同朝入港したるが之亦異狀なく同船は午後二時出帆したり(仁川)

各宮妃殿下及宮內省御內儀御用之光榮を拜せり
◎九條公爵家始其他華族貴顯方御愛用の榮を蒙れり
各博覽會にて金銀牌受領
◎注意 二號入共頭上に稀なきは僞物
定價 卅錢、卅錢、六十錢、一圓
髮を黑く長くつやを出し
さらくとして髮のぬけを防ぎ
髮あかつかざる事妙なり

▲「戰禍」十二日限り　大正館に於ける戰禍は黃金館の名金に對する示威的寫眞とも見るべく多大の興行界を出して上場せる丈大人氣を博し連夜の好評滿員は確かに大成功なりしが愈々同寫眞は十二日限りにて差替を爲すべし
▲浪花館　竹本林之助竹東馬園一座の女義太夫にて連夜好評を博しつゝあるが十二日夜四日目の語り物左の如し
△上かん屋 廣久△白石噺田植(林喜)△平太郎住家(住子)△玉藻前道春館(林玉)△伊賀越沼津(はな外)△日吉丸小牧山城中(久子)△宗五郎子別(廣治)△先代萩御殿(林之助糸東馬園)

浪六先生新著
三版
世間學
在品僅少(急遽乞御註文)
菊判三百餘頁　著者裝幀及自筆口繪挿入　定價九十五錢　送料八錢

世評一斑
世間學は二本の箸の上げおろしから世間を過ぎ人間を離るゝ瞬時も無くてならぬ學問也酸いも甘いも御存じの著者が明るい處で猫の樣な目を細めて世間の表面を見んより闇い裏面の事實を講究せよと最近執筆の快著である
大阪每日曰く、[illegible]
東京 大阪屋號　京城 大阪屋號

新案杯洗器
衛生的杯洗器現はる

圖の如くコップ又は杯を伏せて少々押せば器中の水は壓力に依り上へ噴出でコップを綺麗に洗ひます從來一般に使用せられ居る杯洗は實に非衛生的なるも本器は至極輕便にして一度洗滌したる汚水は外廻りに排出するを以て衛生的のものであります何卒御試めし相願ひます

京城本町二丁目
直輸入
明治屋京城支店
電話(二)一七二二番

眼科內科 小兒科
本田醫院
京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番)
入院隨意
院長 本田建義

開業御披露
謹啓陳ば弊店儀從來旅館及料理店を兼業致し居候處豫て旅館部を三和通に新築中此程に至り全部竣成開業致候間將來共宜敷御贔負の程希上候尚客室等は清潔を旨とし親切丁寧細心の注意を可致候
鎭南浦三和通り
朝日旅館(長電話一一九番)
館主 秋岡フサ

渡邊默禪

『一〇三』二頭の猛獸

雪を蹴つて窪地に驅著けた獵師們の目に、懸崖下に立塞がつてシッシッと後を制してゐる源作の姿が映つた、獵師們はぴたりと運動を停めゝ其處に立竦んだ。

子爵は緩かな歩調で後からやつて來た、鳩子と大野勇はやゝ遠距離に立つて、銃を擬したまゝ警戒の任務についてゐた。見ると雪に埋れて小高い墳墓形の丘を成した巖の上方、

『爺、居るか！』。

『居る／＼、一疋ではねえらしい。何でも牝牡二疋だと睨んでるだが、うまく獲れてくれゝばいゝが』。滿面の髭は得意の笑にそよいだ。

『なにッ二頭!?　やッ、占たぞッ！』。

思はず大きく叫んだ。

『シュッ、靜かにさつしやい』。

『うむ』。息を呑んだ。

殆んど敵の要塞にもぐり込む斥候のやうに、そろ／＼と拔足して忍び寄つた獵師等は洞の一端に接近する

今源作の立つてゐる位置から約六碼の懸崖の腹に、ぽかりと口を開いたやうな洞穴があつた。其處に獵犬の太郎とルイスとが前趾をそぼだてつゝ、ウオー／＼と烈しく吼わてゐる。

源作は呼子笛を懷中に收めてから徐かに背後を顧みて、兩手をちよつと十字形に叉合せて見せた。物馴れた部下の獵師等は直ぐ準備して置いた枠木——丈夫な丸太を藤蔓で格子型に組合せたもの——を持出して、二人はそれを舁ぎ、三四人は後から銃口を差向けて、靜かに／＼洞の口に迫つた。

子爵は源作の傍まで行つて、いきなりその肩へ手をかけながら力任せに搖ぶつた。そして呼吸の高い歡喜の溢れた聲を顫ませて

と共に忽ち一氣に立揚つて、機敏な活動を始めた。枠木はぴたと洞の穴について、左右に太い杭が打込まれた。大槌を揮つて發矢々々と打込む者。荒繩を扱いてその杭に枠木を絡りつける者。四邊の樹木を大鉈で伐り取る者。篦をとつて四邊の雪を掃ふ者。手といふ手は一齊に電の如く動いて、右往左往に亂れ合つた。

歸著した日はいづれも血走つて物凄く輝き出した。宛然火事場のやうだ。

『どりや／＼、見せい、見せいッ』。彈切れるほどの嬉しさに強い好奇心が手傳つて、どきん／＼と心臟を躍らしてゐた子爵は、遂に堪りかねて巖の上に飛揚つた。源作は枠木を潛つて中に進撃しようとするルイスを必死と抑へながら

『仕方のない畜生だなア、中さ入つて見ろ、莫迦ッ。一咬れに咬まれてくたばッて仕舞うべゐがハア。東京あたりの華族さまの獵犬は是だから駄目だちうこんだ。鴨や鴫より外に獲つたことが無ゐんだからなア、ハハヽヽ、家の太郎なんか見さつしやい。此の通り枠木が下りさへすると、ワンともグーとも言はずに見物してるだから……』。

こんな暢氣なことを言つてから更に『さ、これでよかんべちや。先づ一喫ちうもんだべな、こりや』。

一同を犒つて巖の上に腰をかけた。そして腰の胴亂をとつて、眞鍮の鉈豆煙管にぐいとおやめを詰込んだ。悠々たるものである。

子爵はその間に枠木の隙から中を覗いて見た。さまで深くはない洞穴だけれど、冬の稀薄な光線に薄暗く陰つてゐて、はつきりとは目がさゝなかつた。その朦朧とした怪窟の奥に、不安らしく去つたり來たりして居る二頭の動物、確かに熊だ。碧く黄を白熱させたやうな爛々たる眼。オー／＼といふ異樣の唸。巨大な黒影から立つ凄慘の氣は、先づ子爵の心柱を慄然とさせた。

パンとお菓子とキヤラメルと買ひに行きましよ　木村屋さして（京城明治町電二八七〇）

書畫　紗　縮　明　京染呉服商　たまや出張店　京城永樂町二　電話一一九六番

商況

大阪三品（十一日）

[illegible]

大阪期米（十一日）

	寄付	高値	安値	止め
十二月限	一四九、六〇	一四九、二〇	一四一、一八	一四一、五九
一月限	一四九、九〇	一四九、二〇	一四一、二三	一四一、六四

仁川米豆取引所

	寄付	高値	安値	止め
[illegible]	一三八〇	一四二三	一四二八	一四五九
[illegible]	一三七五	一四二八	一四二二	一四六〇

▲後場小變動　[illegible]ち三十四錢と五落したるも押目は又買物多く直に四十一錢と跳返し三十八錢と押したるも更に四十四錢と跳返して保合結局四十二錢と保合の儘散會

▲後場の手振　[illegible]合の既合を告げたり市況は大阪の依然堅調なきより其小變動を繰り返したるに過ぎなかつたが要するに強弱共に新規模様としとも言ふべき場面であつた

▲大に買ふ　[illegible]二千餘石に上りたるとの事一萬四千餘石の買ありたるも大に市場の注目を惹いたり　後場同店より買玉數八千餘石にあるも[illegible]

▲今朝見送る　同筋は後場三十[illegible]にて腰入買[illegible]振り合の[illegible]が出でしより自先[illegible]惣ひ返き見送り居りたり

▲依然保合　大阪の變動なきより[illegible]

新刊紹介

鼎坐句會

穗芒に夜を來る雨を思ふ哉　東村

あはれ眼を病みゝ鑄ゞ花芒　同

豚木島や日向うけて綠淋し　同

道連れの人に許され芒かな　山民

豚木島見出さ徑の鎔に消ゆ　同

豚木島や日傘に高き樓の額　同

恣に馬肥ゆる原の芒かな　北星

巫子籠るさまを見に來て芒哉　同

刀石は名のみに古りし芒哉　同

▲南進策と小笠原群島（山田毅一著）帝國新たに南に領土を加へ南進政策漸く進展を見んとするや著者四度小笠原に渡り同島の實際を詳細踏査して茲に本書を著はす我國民と海外發展策以下十四章太平洋の特殊な論じ國防、南方進展、地理、歷史、統治の各方面より詳細に同群島を說述し更に殖產興業の現況を說き進んで金融、生活、交通、通信機關等に及ぶ所說精細能く南進策の急務なる旨を敎へ國民の情眠を覺醒せしむ且其の紀行篇は同群島の人情、風俗、慣習、施設其他一般の現狀を知悉するに最も便なるのみならず行文の妙亦其の境に遊ぶの思あらしむ好著たるを失はず（一圓二十錢東京市麻布區谷町四放天義塾出版部）

▲演藝畫報（九月號）口繪には木版錦繪國貞筆「鳥居清忠筆」新假類繪菊五郎の強次揚羽の喜多八「名取春仙筆」及び二色版三色版コロタイプ等あり演藝寫眞にはオフセットのだんまり、いがみの權太、白虎隊等を初めさし各地に於て演じたる名優の當り藝姐數十を載せ中村吉右衞門、沢村宗之助の研究等あり秋の長夜の徒然を慰むるには無二の好伴侶たるべし（三十八錢東京市京橋區南佐柄木町七演藝俱樂部）

▲日本農業雜誌（九月號）農村振興策所觀腐植質の土壤に對する効用に就て、バナゝの果梗や果皮から加里が採れる、蔬菜効能の研究過ぎたる農村青年の告白等（十五錢東京市赤坂區青山南町六の八三）

▲滿蒙研究彙報（參考號の三）參考資料欄には引續き滿蒙經濟要覽、東蒙事情、滿洲の果樹を載せ張伯傅選標氏は完結し新に工業用亞麻に就てあり其の他時事彙報欄、經濟、財政欄、鐵道交通欄、對時報欄、對支時報欄等總てを本誌獨得の記事にして滿蒙事情研究者の參考として本誌は最有益なるものあるを見ず（會費月三十錢旅順乃木町其會）

▲現代の圖案工藝（九月號）器物搬、陶磁器向、日本手向陶器灰皿、木工家具、玩具店用看板カード、釣花瓶花器等の圖案論を口繪とし記事には五問題に對する意見、七寶の不振と其の圖案の手引、玩具の意匠圖案に就て、西洋家具圖案と共工作法の要訣等圖案工務界發達指導に務む（二十五錢東京市赤坂區青山南町二の四〇其社）

▲紹介雜誌（九月號）本號には鏡里雀山水圖裝幀、安田靫彥女の姿昂藤深淡山飛選、銀杏坪筆湖石並芳松坪筆夏景、岡居道彥筆妙法院大臣等の揷畫は依例印刷巧妙能く元畫の筆意溫蓄を味ふべく記事には揷繪解說、無村の俳と畫、一蝶の畫像に就て等を收む（三十五錢東京市神田區通新町東陽堂）

流るゝ儘

▲衛生實行部から糞尿扱取りに來て呉れるのはありがたいが便所の緣を汚したり又塵箱の中などは何時も清潔にしたことがないそして附いて來て居る監督の樣な人夫は道路の側で惰眠をして居ることがある（賀見生）▲京城は納稅の成績が一番惡いと云ふが弱い者計りいじめずに本町筋の高利貸屋からドシ／＼差押をしたらよろしからう（一貧民）▲京城の道路は一雨毎に河原の樣な慘狀を呈する京城府の土木係では其度毎に修繕をして居るやうだが其れも南山町や倭城臺邊のエライ人の住んで居る處丈けらしは外の方も巡視して貰ひたいものだ（公明正大生）▲南大門驛の案內係が更迭して大變若いが然し非常に親切な人になつて嬉しい此前の男の頃は慢なのには閉口して居た（交通生）▲京日の『讀者の領分』は眞に吾々愛讀者の領分で毎日樂しんで讀んで居るが此貴重な紙面を下だらないことで計り投書せずに少し眞面目なそして有益なことを投書しようではないか（愛讀者）▲虎列拉の流行に就て衞生取締が嚴重になつたのは結構ですが何ぼ市中の飲食店や雜貨店では隨分如何しいものを賣つて居る所が多い時々警察等から臨檢されては如何（衞生家）▲京城にはカフェーの數が澤山殖ゑたけれどもミルクホールの一つもないのは甚だ遺憾だ一つ開業する有志家はないか（中學生の總代）▲京城の醫藥料も隨分高い私は先日或醫師より藥を貰ひましたが苦味丁幾の一日分か二十錢之れを原價にすれは三錢位何んと驚くではありませんか成程醫藥を賣るでなく術を賣らるゝものとは承知して居りますが術を賣るなれば合せて仁も賣るゝ樣せられては如何（慢性病患者）

皮徽科　皮膚病　徽毒病　痳病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（朝日町入口）佐藤醫院（電話一一七三番）

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
動物學講義	石川千代松	三五〇
情話叢書第一輯	渡邊默禪	四五
南進策と小笠原群島	山田毅一	一二〇
漢文譯	山岸輯光	六五
時は過ぎゆく	田山花袋	一二〇
牛（四天說）	岡本米藏	一〇〇
乃木大將	山路愛山	八五
綴方新教授法の原理	駒村五味	一三〇
朝鮮鑛業要覽	朝鮮鑛業研究會	一二〇
朝鮮語學捷徑	佐藤錄堂	五〇
英和中辭典	井上十吉	一三〇
朝鮮鐵道旅行案內	朝鮮鐵道局	七〇
民法總論前編	松山一郎	六〇
物權法前編	横田秀雄	六〇
行政法全二冊	島村他三郎	一二〇
海商法論全二冊	市村富久	一二〇
保險法論	粟津清亮	六〇
手形法論	須賀喜三郎	六〇
商法總論	志田鉀太郎	六〇

[illegible]書店　京城本店　仁川支店　京城本町二丁目　電話一一六六番　振替京城二四五四番

マラリアに一番　ヨクキククスリハ　龍山林藥房製劑の　マラリア特効丸　金拾錢叁拾五錢五拾錢▲郵稅貳錢　◎ニセモノアリ御注意◎
賣藥　本舖　龍山　Ⓗ林藥房　京城本町一丁目　代理店　山岸天祐堂

ボーミサン　衞生必携品　一個十錢　六個一圓　一個八錢　十個入廿錢　廿四個入六十錢　郵便代用一割増　卅個以上別製　引外に要送料　京城黄金町三振替京城三二二七番　山田文栄堂藥房

ばい毒素人治療　しろうとちりやう
化學上の新智識を簡易の內服藥に應用せしものにして苦痛を去り、費用を省き、迅速に自宅にて安全經濟に其奏効偉大なる簡便家庭新自療法なり。
淋病患者は其病名を記し申込め最善の治療法を報導す。
無代送呈　ハガキに病名を記し申込め　內容書秘密封呈
東京市本所向島小梅町　東京藥化學研究所

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉　星印配合肥料、細工用地骨　細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼　牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅藥町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　電話九七三番　振替口座京城四〇〇番

品質卓絕中味豐富　優等　清酒　金露
攝津灘魚崎　釀造元　大塚釀造所
各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通三丁目　發賣元　大塚京城支店　電話四〇一番　振替口座五七〇番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　酒井婦人病院　入院隨意　電話二六〇一番　二六〇八番

最上醬油　特許機械製　ほまれ味噌
絕對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽　於始政五年朝鮮物產共進會　金牌受領
釀造元　仁川港　日本醬油株式會社　電話七一五一番　振替京城一七四番
京城出張所　電話二四五番　振替京城五二三番

化粧品　仁丹　惡疫流行　今のむ仁丹値千兩
金言　人を知り己れを知りてこそ業に強し（楠公家訓）

賛化病院　京城本町二丁目　電話二四二番
內科　小兒科　入院隨意　毎日五名を限り無料施療す
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏

新刊書御案內

書名	著者	定價
世界の變局	德富猪一郎	四五〇
戰爭と國際法	立作太郎	三五〇
時事漫想	田尻稻次郎	三五〇
喜多流五番綴	喜多六平太	三五〇
世間學	村上浪六	九五
海上戰の大英國の危機	宮家謙男	七五
武者の集う（？）たる姿	鷲崎英朋	一五〇
小說歌まくら	青木繁圖	五〇
自然と愛	金子薰園	五五
巫女殺し	上司小劍	五〇
小夜ちどり	長田幹彥	四〇
醫界珍聞錄	山本喜市郎	四五
戰線に立ちて一名獨乙の肉彈	芳賀登一	一〇〇
朝鮮より	宮原綱村	五五
中正大納言後編	羽智翡國	九〇
手輕に出來る家庭西洋料理	櫻井ちか子	六五
井上英和中辭典	井上十吉	一三〇
滿洲寫眞帳	滿洲日日新聞社	一〇〇
大正琴自由自在	平山城人	二五
受驗必携朝鮮行政法規大意	安達大壽計	四〇
同會話譯文速成	同	四〇

京城本町　大阪屋號書店　電話六八四、二〇八六　振替京城二五七三

朝鮮郵船出帆
○全羅丸　九月十九日　○京畿丸　九月廿九日　○黃海丸　十月　○咸鏡丸　九月廿三日　釜山發　門司より釜山各港寄港雄基間航路
○穩城丸　九月二十日　○昌平丸　九月十八日　○鏡城丸　九月十四日　元山發　元山より各港經由雄基行
○忠清丸　九月十五日　○平壤丸　九月廿七日　元山發　城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行
○永興丸　毎月廿八回　元山發　北久味、五里浦行
○會德丸　九月十五日　釜山發　甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行
○江陵丸　○載陽丸　毎日　釜山浦項發
○三浦丸　九月十八日　釜山發　長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港
○海州丸　○統營丸　毎日　釜山發　○五濟丸　○慶寶丸（三日目一回木浦行）
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發　各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續
○慶興丸　九月十八日　木浦發　各港經由濟州島行西廻
○慶興丸　九月廿一日　木浦發　南多島海列島行（月三回）
○公州丸　九月十六日　木浦發　各港經由濟州島行（東廻）
○宗信丸　九月　日　仁川發　海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行
○江原丸　九月十五日　仁川發　青島、大連、芝罘行
○臨水丸　○晉州丸　九月廿一日　九月十七日　仁川發　各港經由木浦行
○全州丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發　江華島、喬桐島、海州行
京城荷客取扱店　松原運送店（電話長一七〇番）　本社　電話長一九五二番二三二番　京城南大門驛前　出張所　代理店　荷客取扱店に御照會相成度候

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行　立神丸　月　日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　立神丸　月　日後十時出帆
元山、城津、浦鹽行　小倉丸　月　日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　月　日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　月　日後六時出帆
○天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日）午後十時出帆
住須奈、巖原、壹岐、博多行
本船取扱店　釜山港埋立新町　大池回漕部

大阪商船仁川出帆
外航所屬航路迷津航路を除く出港時間は五分前を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、馬關、神戶、大阪行
○須磨丸　九月廿一日
○安東丸　九月十八日　後五時出
○大智丸　九月廿四日
×木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行
○信濃川丸　九月十四日　後二時出
×信濃川丸　十月二日
○群山、釜山、橫濱行
○福州丸　九月十三日　後二時出
×潮州丸　九月廿八日
○木浦釜山關門、神戶、大阪行
○天智丸　九月十二日　後二時出
×鎭南浦、大連行
×信濃川丸　九月廿七日　後二時出
○信濃川丸　十月十五日
△大連直行
○福州丸　十月三日　正午出帆
△潮州丸　九月廿三日
○鎭南浦行
○天智丸　九月十四日　正午出帆
×清津、浦潮行（元山出帆）
○印、城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
○安平丸　九月十六日　後二時出
○宮島丸　九月廿二日
▲上海、芝罘行
○基隆、打狗行（大連出帆）
○北陸丸　九月廿四日　後四時出
○湖北丸　九月十三日　前六時出
御注意　連絡切符發賣及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候（御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘船の事）
△印は冷藏室附致候　×印は京城行
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番　京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七八番
中國四國沿岸各港行船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸　十月九日　正午出帆
高砂丸　九月十七日　正午出帆
三河丸　九月廿八日　正午出帆
仁川港埠町十二番　電話十二番　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸　九月廿二日後四時出帆
○大有丸　九月十九日後四時出帆
○神代丸　九月十五日後四時出帆
○秀吉丸　九月十二日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
朝鮮總督府命令船　第六共同丸　九月十五日後四時出帆　九月十七日前九時出帆
朝鮮鐵道連絡切符發賣荷客連絡取扱仕候　大連にては南滿鐵道各驛行定期船接續貨客共直航船と同額運賃にて通し切符取扱仕候
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸　月　日後九時出帆
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸　元山出帆　月　日前八時出帆
本社　阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　本町一丁目　電話一〇八番　山下回漕部
元山代理店　春日町　電話二四七番　田口回漕部
京城取次店　南大門　電話二六八・二〇一七　河村運送店

金泉醴泉間自動車時間
上り　一番　二番　下り　一番　二番
金泉發　前八、〇〇　後一、〇〇　醴泉發　前八、〇〇　後一、〇〇
牙山着　前九、〇〇　後二、〇〇　尙州發　前九、三〇　後二、三〇
尙州發　一〇、〇〇　三、〇〇　成昌發　一〇、三〇　三、三〇
成昌著　一一、〇〇　四、〇〇　牙山發　一一、〇〇　四、〇〇
醴泉著　一二、〇〇　五、〇〇　金泉著　一二、〇〇　五、〇〇
▲小荷物運搬仕り候
金泉　織居自動車支部　金泉電話四八番